



区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数								資格取得に必要な単位数								備考			
			必修	選択		1 学 年				2 学 年				介護職員 初任者研修	介護福祉士 受験	アクティビティ ワーカー	日商PC 検定	マイカ クレンジング	ケアネット	福祉住環境 コーディネーター	社会福祉士 編入		社会福祉士 任用		
						前 期	後 期	前 期	後 期	必 修	選 択	必 修	選 択												
						必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択												
専 門 科 目	人間と社会 ソーシャルワーク分野	社会 保 障 論	講	2		小 平	2																		
		高 齢 者 福 祉 論	講	2		(蟻 川)				2															
		障 害 者 福 祉 論	講	2		関				2															
		児 童 家 庭 福 祉 論	講		2	明 柴						2													
	ソーシャルワーク	地 域 福 祉 論 I	講		2	関					2														
		地 域 福 祉 論 II	講		2	関					2														
	福祉ビジネス分野	ソーシャルワークの理論と方法-1	講		2	(村 上)				2															
		ソーシャルワークの理論と方法-2	講		2	(村 上)						2													
		福 祉 ビ ジ ネ ス	講		2	小 平			2																
		介 護 事 務 概 論	講		1	小 平			1															8回	
		介 護 事 務 演 習	演		2	松 島				4															
		医 療 事 務 概 論	講		1	小 平					1														8回
		医 療 事 務 演 習	演		2	(小 野)					4														
		医 療 ・ 福 祉 と I C T	演		1	吉 牟 田				2						○	○								
		情 報 処 理 演 習	演		1	吉 牟 田					2					○	○								
		富 山 型 福 祉 特 別 講 義	講		2	小 平																			
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	演		1	小 平				*															
		キャリア支援	介護福祉総合演習 I	演		1	吉牟田・専任全員																		
	介護福祉総合演習 II		演		1	関・専任全員															○				
	福祉ビジネス総合演習		演		2	小 平				4															
キャリアデザイン演習	演		1		小平・関・井上					2															
総合支援	総合的研究	演	2		吉牟田・専任全員			2		2															
	小 計			36	67			24	0	15	19	8	32	0	32										
	計			46	77			38	1	16	21	8	34		38										

授業科目名	介護従事者の安全			科目コード	W111-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名						
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 介護福祉論		後継科目						
関連科目	介護福祉分野								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	介護従事者のこころとからだの健康管理や労働環境の管理について学びます								
学習目標	介護従事者として心身共に健康に、介護を実践するための健康管理や労働環境の管理を理解できる								
キーワード	こころの健康管理 身体の健康管理 労働環境の整備								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座4 介護の基本 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護従事者としての健康管理、労働環境の整備の知識が十分に有している								
LO-2									
LO-3	健康管理と労働環境の整備について応用・活用することができる								
LO-4									
LO-5	他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5			20						20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	健康管理の意義と目的	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第2回	労働の特性と健康問題	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】健康問題について考え、まとめる	30分
第3回	健康に働くための健康管理	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第4回	こころの健康管理	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第5回	こころの健康管理	
	【予習】前回の復習をする	30分
	【復習】ストレスへの対処法を考えまとめる	30分
第6回	からだの健康管理	
	【予習】前回の復習をする	30分
	【復習】ノーリフティングポリシーに基づいた移動・移乗介助を思い出し、復習をする	30分
第7回	からだの健康管理 ノーリフティングポリシーに基づいた移動・移乗介助を実践	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第8回	労働基準法と労働安全衛生法	
	【予習】働く人を守る法制度について調べる	30分
	【復習】働く人を守る法制度についてまとめる	30分
第9回	介護従事者を守る団体	
	【予習】介護従事者を守る団体について調べる	30分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第10回	介護従事者を守る環境整備と労働者災害	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】ワークシートをまとめ、発表準備をする	60分

第11回	労働環境を改善する視点について 発表	
	【予習】グループメンバーと発表準備をする	60分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第12回	労働組合について	
	【予習】労働組合について調べる	30分
	【復習】ワークシートをまとめる	30分
第13回	事例検討	
	【予習】1回目から振り返りをおこなっておく	30分
	【復習】発表できるようにまとめておく	60分
第14回	事例検討	
	【予習】1回目から振り返りをおこなっておく	30分
	【復習】発表できるようにまとめておく	60分
第15回	発表とまとめ	
	【予習】1回目から振り返りをおこなっておく	30分
	【復習】要点を整理しておく	30分

授業科目名	チームワークと多職種連携			科目コード	W111-13				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を展開する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 介護福祉論		後継科目						
関連科目	感染予防とリスクマネジメント 介護従事者の安全 介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組みと、 協働する多職種の機能と役割を学び、理解を深める。								
学習目標	生活を支えるフォーマルサービスとインフォーマルサービスを知り、概説できる 地域連携について、説明ができる 多職種連携・協働の必要性と求められる基本的な能力を概説できる 保健・医療・福祉職の役割と機能を学び、その実際を知り、説明することができる								
キーワード	多職種連携 協働 保健・医療・福祉職								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 介護の基本 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみや他職種連携・協働の機能と役割を理解し、介護福祉士に必要なチームワークに関する正しい知識を身につけている								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	地域におけるサービスの仕組みの具体例を考え、他職種とのチームワークに関する提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して地域や介護福祉に関連する職種に関する最新情報を自ら入手し、それらをチームケアの視点で生かす意欲や関心を有する。								
LO-5	生活を支えるさまざまなしくみや他職種とのチームワークが、利用者の尊厳を大切にした支援に結びつくことの重要性を理解する力を有する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30		70						100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み フォーマルサービス	
	【予習】テキストP48～P60まで読む	90分
	【復習】フォーマルサービスである介護保険サービスの特徴をまとめる	90分
第2回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み インフォーマルサービスと地域連携	
	【予習】テキストP61～P82まで読む	90分
	【復習】インフォーマルサービス、地域連携についての基本的知識をまとめる	90分
第3回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて	
	【予習】他職種協働・連携を要請する社会の動きについて調べる	90分
	【復習】全国で展開された事例についてまとめる	90分
第4回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて 発表	
	【予習】全国で展開された事例についてまとめる	90分
	【復習】他職種協働・連携を要請する社会の動きについて理解を深める	90分
第5回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者について調べる グループワーク	
	【予習】社会福祉士、介護支援専門員など、保健・医療・福祉職の職種について調べる	90分
	【復習】福祉職の職種とサービスについて考える	90分
第6回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者について調べる グループワーク	
	【予習】社会福祉士、介護支援専門員など、保健・医療・福祉職の職種について調べる	90分
	【復習】医療職とサービスについて考える	90分
第7回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者についてプレゼンする グループ発表	
	【予習】発表を聴く人に伝わりやすいプレゼンテーション方法を考える	90分
	【復習】リハビリに関する職種とサービスについて考える	90分
第8回	保健・医療・福祉職の役割と機能 介護を必要とする人を支えるさまざまな職種についての確認とサービス連携	
	【予習】第7回でプレゼンテーションをした職種について理解を深める	90分
	【復習】介護を必要とする人を支える職種とチームについて考える	90分
第9回	介護実践の場で他職種協働・連携が求められる意義	
	【予習】テキストP144～P150まで読む	90分
	【復習】他職種協働・連携を必要とする社会の動きを整理する	90分
第10回	多職種連携・協働を成功させるチーム作り	
	【予習】テキストP152～P162まで読む	90分
	【復習】他職種との協働・連携が必要な理由をまとめる	90分

第11回	多職種連携・協働に求められるコミュニケーション能力	
	【予習】テキストP163～P162まで読む	90分
	【復習】コミュニケーションスキルについてまとめる	90分
第12回	多職種連携・協働の実際	
	【予習】地域ケア会議について調べる	90分
	【復習】地域で生活する人を支えるチームケアの具体例を考える	90分
第13回	多職種連携・協働の実際	
	【予習】施設ケアに関わるチームについて調べる	90分
	【復習】施設におけるチームケアの事例を考える	90分
第14回	多職種連携・協働の実際	
	【予習】地域包括支援センターの役割を調べる	90分
	【復習】地域包括支援センターでの事例を考える	90分
第15回	まとめ	
	【予習】テキスト、資料をまとめる	90分
	【復習】試験に備えてポイントをまとめる	90分



授業科目名	感染症予防とリスクマネジメント			科目コード	W111-14				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を展開する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 介護福祉論		後継科目						
関連科目	チームワークと他職種協働 介護従事者の安全 介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解するとともに、安全の確保のための基礎的な知識や事故への対応を学ぶ。								
学習目標	介護における安全の確保とリスクマネジメント、感染症対策を学び、理解する。								
キーワード	安全の確保 事故防止 安全対策 感染対策 ポリファーマシー								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 介護の基本 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	セーフティマネジメントの考え方を理解し、福祉サービスに求められる安心や安全、介護福祉士に必要な感染に関する正しい知識を身につけている								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	安全の確保を組織全体で取り組む方法や感染を予防するための具体的な方法を考え、提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手し、それらを感染予防やリスクマネジメントの視点で生かす意欲や関心を有する。								
LO-5	安全な暮らしを支援することが、利用者の尊厳の保持に結びつくことの重要性を理解する力を有する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30		70						100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 介護における安全の確保	
	【予習】テキストP84～P87まで読む	60分
	【復習】実習中のヒヤリした場面の事例を基にセーフティマネジメントについて考える	60分
第2回	介護に開ける安全の確保 事例をもとにセーフティマネジメントを考えまとめる	
	【予習】テキストP84～P87まで読み、自分の体験を結びつける	60分
	【復習】グループメンバーの事例を基に考えを深める	60分
第3回	介護における安全の確保 事例を基にセーフティマネジメントを発表する	
	【予習】グループメンバーの事例を基に内容と方法をカテゴリ化する	60分
	【復習】事例を基にそれぞれの要因について分析する	60分
第4回	リスクマネジメントの理解 尊厳ある暮らしの継続のためのリスクマネジメント	
	【予習】テキストB88～P89まで読む	60分
	【復習】介護場面でのリスクマネジメントについて振り返る	60分
第5回	リスクマネジメントの理解 介護場面についての事故防止、安全対策を考える	
	【予習】テキストB90～P93まで読む	60分
	【復習】苦情の段階と苦情対応の基本原則を事例に沿って考える	60分
第6回	身体拘束について	
	【予習】テキストP947～P97まで読む	60分
	【復習】身体拘束についての自分の考えをまとめる	60分
第7回	福祉サービスに求められる安全・安心	
	【予習】テキストP97～P103まで読む	60分
	【復習】利用者の尊厳を守る介護の在り方についてまとめる	60分
第8回	事故防止のための対策	
	【予習】テキストP103～P113まで読む	60分
	【復習】事故直後の対応から組織体制を考える	60分
第9回	事故防止のための対策	
	【予習】生活の場の安全管理の具体例を実体験から考える	60分
	【復習】医行為について理解を深める	60分
第10回	感染症対策 介護福祉職に必要な感染に関する知識	
	【予習】テキストP116～P136まで読む	60分
	【復習】高齢者施設での感染予防策についてまとめる	60分

第11回	感染症対策 感染症対策の3原則	
	【予習】感染症対策の3原則を調べる	60分
	【復習】標準予防策についてまとめる	60分
第12回	感染症対策 感染発生時の対応	
	【予習】感染を疑うべき症状について調べる	60分
	【復習】感染症発生時の対応について述べるができるように振り返る	60分
第13回	感染症対策 災害における感染予防対策	
	【予習】災害における感染予防（避難所生活）について考える	60分
	【復習】災害時の実際について考えを深める	60分
第14回	感染症対策 服薬管理とリスクマネジメント	
	【予習】薬剤の正しい取り扱い方について調べる	60分
	【復習】多職種との連携の在り方について具体例に検討する	60分
第15回	まとめ	
	【予習】テキスト全体と、配布資料を振り返る	60分
	【復習】試験に備えてポイントをまとめる	60分

授業科目名	介護予防論			科目コード	W111-15				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 介護福祉論		後継科目	なし					
関連科目	介護従事者の安全 チームワークと多職種連携 感染予防とリスクマネジメント								
資格等 取得との関連	介護福祉士 社会福祉主事(任用資格) メディカルクラーク・ケアクラーク								
授業の概要	(1)高齢者の生活と運動、介護予防に関する基礎的な知識を学ぶ。 (2)福祉(介護福祉)職として、知見しとくべきリハビリテーション、健康支援・介護予防の考え方と基礎的知識を学ぶ。 (3)専門職との連携・関係を学ぶ。								
学習目標	(1)高齢者の健康と運動について介護予防と関連させて理解する。 (2)リハビリテーションの理念と基礎原則を理解します。 (3)こころとからだの障害の程度とその影響を理解します。 (4)介護予防の展開プログラムについて理解します。								
キーワード	介護予防、機能訓練 フレイル サルコペニア 健康支援 自立支援								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規 その他、参考図書を適宜紹介								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】リハビリテーションの理念・とらえ方、介護予防の基礎と展開過程を理解する。障害とその影響を理解し自立支援及び、社会生活能力の維持拡大への援助について理解する。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】介護福祉士としての介護予防運動への取組に関心を持ち、積極的にプログラムの立案・実践に臨むことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50				50			100
LO-1		50							50
LO-2									
LO-3									
LO-4						50			50
LO-5									
備考	その他 A については、個別・グループワークでの活動・課題の提出および発表に点数を与える。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 地域包括ケアシステムによる介護予防の概要	
	【予習】シラバスをみておく	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す。	90分
第2回	リハビリテーション(1)-理念、とらえ方	
	【予習】シラバスを見ておく、教科書を読む	90分
	【復習】ノートを整理しておく	90分
第3回	リハビリテーション(2) 関連・派生用語	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】教科書、参考書を読む	90分
第4回	リハビリテーション(3) 体系、領域、役割	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す。	90分
第5回	リハビリテーション(4) 障害・ADL評価、QOL	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む。	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読む。	90分
第6回	介護予防(1)	
	【予習】前回の配布資料、テキストを読む。	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む。	90分
第7回	介護予防(2)	
	【予習】前回の配布資料、テキストを読む	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む。	90分
第8回	自立に向けた介護 施設におけるリハビリテーション(1)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】遊びリハビリテーションの考え方、目的 日常生活につながる遊びリテーションを計画する	90分
第9回	自立に向けた介護 施設におけるリハビリテーション(2)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】施設リハビリテーションの考え方、流れ	90分
第10回	自立に向けた介護 医療におけるリハビリテーション(1)	
	【予習】前回の配布資料、テキストを読む	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む。	90分

第11回	自立に向けた介護 医療におけるリハビリテーション(2)	
	【予習】地域リハビリについて調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを資料で振り返る。	90分
第12回	自立に向けた介護 在宅におけるリハビリテーション	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す。	90分
第13回	自立に向けた介護 地域リハビリテーション	
	【予習】地域リハビリ施設について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第14回	自立に向けた介護 リハビリテーション専門職との連携	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す。	90分
第15回	自立に向けた介護 福祉用具、住居の改造 福祉のまちづくり	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】今まで学習したことを整理しておく。	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-22				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	松島 紘子					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術、介護福祉論		後継科目	介護福祉論、看取り介護					
関連科目	生活支援、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	高齢者や障害者の自立を尊重し、適切な介護技術を用いて安全に援助できる知識や技術について習得する学習です。病気や障害によって従来の生活様式と状況が異なった時にも利用者が望む暮らしに近づけ、よりよい支援を考え実践できる様に、グループでの活動を中心に、授業の聴講、個人ワーク、演習を通して学習します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病気や障害、利用者の状態や生活の状況等に応じた適切な介護技術の知識を身につけます</li> <li>2. 利用者の状態を多方面から情報収集分析し、理論的な介護実践が行える様になります</li> <li>3. 介護用ロボットやリフト等の福祉用具の活用し、腰痛予防にも視点をおいた介護技術を身につけます</li> </ol>								
キーワード	自立支援・エンパワメント・福祉用具の活用・ICF・								
テキスト・ 参考書等	生活支援技術 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者・障害者の心身の状況に応じて、利用者が自立した生活を送る為に必要な専門的知識を習得し、根拠に基づいた生活支援技術を行う事ができる								
LO-2	学生が高齢者や障害者の利用者像を設定し、利用者の状態に合わせた応用となる生活支援技術を学生同士の演習の中で実施する事ができる。								
LO-3	対象者の状態・状況を多方面からの情報収集とアセスメントにより、それに応じた生活支援の方法を考える事ができる								
LO-4									
LO-5	コミュニケーションの基本を身につけ、相手の気持ちを察することができる。他者への共感的態度を持つ事ができ、協調・協働して行動する事ができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		10		50				100
LO-1	40								40
LO-2					40				40
LO-3			10						10
LO-4									
LO-5					10				10
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例を通してグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、全員で事例を深めていく</li> <li>2. 実習室のみならず、学校内外の福祉の環境について目を向ける</li> <li>3. 学生自身が課題を見つけ、その解決に向けて学びを深める</li> </ol>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・本科目での学生の目標設定・利用者情報の分析と共有	
	【予習】資料は当日配布。WEBシラバスを確認。実習記録の受け持ち利用者情報収集のシート持参。	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第2回	高次脳機能障害に応じた介護 高次脳機能障害の理解・生活上の困り事ー身支度について 支援のポイント、事例で学ぶp226	
	【予習】事例を確認するテキストp226 利用者像でわからない所、質問をあげておく。	90分
	【復習】ワークシートの提出。感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第3回	高次脳機能障害に応じた介護 高次脳機能障害の理解・生活上の困り事ー食事について 食事のセッティング、椅子やテーブルなどの環境作り、姿勢	
	【予習】利用者像の確認p226	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第4回	ALSに応じた介護 ALS（難病）の理解 生活上の困り事・支援の展開 事例で学ぶ 食事	
	【予習】事例の確認p254 飲み物を準備する。	90分
	【復習】ワークシートの提出。感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第5回	パーキンソン病に応じた介護 パーキンソン病（難病）の理解 生活上の困り事、支援の展開 事例で学ぶ 排泄・睡眠	
	【予習】事例の確認 事例の確認p267	90分
	【復習】ワークシートの提出。感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第6回	発達障害・精神障害に応じた介護	
	【予習】統合失調症の理解p196を読む 発達障害に応じた介護p229を読む	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第7回	知的障害に応じた介護 ゲストスピーカーによる特別講義	
	【予習】質問を2つ考えておく	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第8回	知的障害に応じた介護	
	【予習】演習内容についての確認	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第9回	肢体不自由に応じた介護 肢体不自由の理解・麻痺の種類 生活の困り事（外出等）移乗の介助（片麻痺、対麻痺） 福祉用具の活用	
	【予習】利用者像について確認（学生からの情報によって作られた情報像を共有）	90分
	【復習】ワークシートの提出。感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第10回	肢体不自由に応じた介護 排泄・入浴について スムーズな排泄を促すケアを考え実践する	
	【予習】利用者像について確認（学生からの情報によって作られた情報像を共有）	90分
	【復習】ワークシートの提出。感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分



第11回	福祉用具の活用と腰痛予防 1. ボディメカニクスの再確認 2. 利用者と介護者双方にとって安心な介護とは何だろう(福祉用具活用のメリット、デメリット) 3. リフト体験	
	【予習】1の復習、2について考えておく。	90分
	【復習】2. についてレポート提出。Googleフォーム。	90分
第12回	災害時における生活支援	
	【予習】災害時に活用できそうな事を文献やインターネット検索で調べておく。	90分
	【復習】レポート「災害時に介護福祉士ができる事は何だろう」	90分
第13回	悪性関節リウマチに応じた介護 悪性関節リウマチの理解 生活上の困り事 支援の展開・多職種連携	
	【予習】p282 事例の確認	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第14回	筋ジストロフィーに応じた介護 生活上の困り事 支援の展開 レスパイトケア	
	【予習】p296 事例の確認	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分
第15回	事例を元にした形態別介護の実践	
	【予習】事前課題の確認	90分
	【復習】感想レポート・質問等Googleフォームに入力する	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-24				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	川端 明美					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	生活の理解と生活支援について学習します。 住生活の基本的な知識を理解し、自立した生活のための居住環境整備について学習します。 衣生活の基本的な知識と技術を習得し、被服管理について学習します。								
学習目標	住生活、衣生活についての基本的な知識と技術を学ぶことを通して、支援を必要としている人の自立を尊重し支援できるようになることを目指します。								
キーワード	自立 生活 家事 生活支援 居住環境整備 被服管理								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術」 中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	衣服管理と居住環境整備に関する知識を習得している。								
LO-2	自立に向けた生活支援のための衣生活、住生活の基本的な知識と技術を身につけている。								
LO-3	自立に向けた生活支援のためのニーズを捉えることができる。								
LO-4	生活に関心をもち、課題解決のための工夫をすることができる。								
LO-5	多様な考え方に気づき、生活支援のために協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20	20	10				100
LO-1	50								50
LO-2				20					20
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考	安全に実施できるか確認し、実施可能なアクティブラーニング(グループワーク、プレゼンテーション、実習等)を実施します								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の理解と生活支援 家事の意義と家事支援	
	【予習】生活やそれを支える家事に関心を持ち、特徴をまとめる 洗濯、掃除、ごみ捨て、裁縫のいずれかの家事を行い、そのプロセスをまとめる	60分
	【復習】高齢者の生活の特徴をまとめる 高齢者の生活を支える家事支援について考える	60分
第2回	高齢化と住宅政策 住まいの機能と日本住宅の特徴	
	【予習】高齢者の住まいの種類とその特徴について調べる。	60分
	【復習】日本住宅の特徴と住居内での事故についてまとめる	60分
第3回	住環境アセスメント	
	【予習】住空間の種類と各生活空間の動作の特徴をまとめる	60分
	【復習】高齢者の心身の特徴と住居内での事故の予防方法を考える	60分
第4回	居住環境の整備（空間構成、広さ、動線、材質、バリアフリー）	
	【予習】自分の家の各生活空間の広さ、高さ、幅、空間のつながりを調べる	60分
	【復習】人体寸法をもとに空間の高さ、幅、広さなどをイメージできるようにする	60分
第5回	居住環境の整備（住宅改修、福祉用具の活用）	
	【予習】介護保険制度を利用した住宅改修について調べる	60分
	【復習】転倒しやすくなった人、杖、歩行器、車いす等を使用する人、介助する人の居住環境の工夫を考える	60分
第6回	居住環境の整備（空気環境、温熱環境、光環境、音環境）	
	【予習】空気環境、温熱環境、光環境、音環境と健康との関係を考える	60分
	【復習】空気環境、温熱環境、光環境、音環境の整備についてまとめる	60分
第7回	居住環境の整備（インテリアデザイン、カラーワーク）	
	【予習】雑誌等のインテリア（色、材質、小物唐）をみて、気に入ったものを切り抜いておく 実習先の施設での安全性、快適性の確保について気づいたことを思い出してまとめる	60分
	【復習】まちのビクトグラムの位置、色、形、大きさを調べる 入居施設におけるプライバシーの保護、交流の促進について考える	60分
第8回	被服の機能 介護が必要な人の衣生活支援	
	【予習】装いへの関心とQOLの関係について考える	60分
	【復習】高齢者の衣服による事故・健康障害の予防方法を考える	60分
第9回	被服の管理（しみ抜き、洗濯、アイロン、保管、修繕等）	
	【予習】自分の衣服の表示（サイズ、組成、取り扱い）を調べる	60分
	【復習】衣服用洗剤メーカーのホームページを調べて気づいたことをまとめる	60分
第10回	手縫いによる小物製作	
	【予習】被服の修繕が必要な場合を調べる 玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めを練習する	60分

第11回	手縫いによる小物製作	
	【予習】手縫いによる修繕ができる場合を考える ボタンつけ、スナップつけ、まつり縫い、コの字とじの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】ボタンつけ、スナップつけ、まつり縫い、コの字とじの練習をする	60分
第12回	手縫いによる小物製作	
	【予習】自分の衣服の点検をし、よりよい管理のしかたを考える	60分
	【復習】自分の服の修繕をする	60分
第13回	高齢者にも配慮したモノ・コト	
	【予習】高齢者の心身の特徴を踏まえて、公共施設、商業施設の広さ、商品等の配置を観察する	60分
	【復習】高齢者にも配慮した広さ、配置等を考える	60分
第14回	高齢者にも配慮したモノ・コト	
	【予習】高齢者にも配慮した商品、サービスを考える	60分
	【復習】レポートを作成し、プレゼンテーションの練習をする	60分
第15回	高齢者にも配慮したモノ・コト	
	【予習】プレゼンテーションの練習をする	60分
	【復習】本授業と関連する前年度の介護福祉士国家試験問題を解く	60分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-25				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名						
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ、高齢・障害者の心理、障害者ケア論、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	ターミナルケア論、介護過程								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	前半は、障害に応じたケアの方法について学習します。「死」を迎えることや残された者の思いなど、さまざまな「死」を取り巻く状況を講義やグループワークをとおして学習します。終末期を理解し、QOLを高める身体・生活援助やコミュニケーション技術を身につけ、介護福祉士としての死生観を養います。								
学習目標	障害に応じたケアについて理解します。看取り介護の重要性を理解し、終末期から臨終期の適切なケアを理解します。在宅・施設における看取り介護におけるチームアプローチの中で介護福祉士としての役割を理解し、自分の死生観を養います。								
キーワード	障害 終末期、終末期介護、死生観、グリーフケア、他職種連携、								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術」「生活支援技術」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、終末期の介護技術の基本について十分に理解できる。								
LO-2									
LO-3	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を深めることができる。								
LO-4	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が十分に見受けられる								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークの中で見ることができる。また、その場の状況に応じた適切な言葉かけを仲間にかけることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			40						40
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4			10						10
LO-5					20				20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	重複障害 盲ろう に応じた介護	
	【予習】テキスト P 63 ~ P 73までを読んでくる	60分
	【復習】重複障害 盲ろう に応じた介護について レポートをまとめる	120分
第2回	内部障害に応じた介護	
	【予習】テキスト P 91 ~ P 145までを読んでくる	60分
	【復習】内部障害に応じた介護についてレポートをまとめる	120分
第3回	内部障害に応じた介護	
	【予習】テキスト P 146 ~ P 169までを読んでくる	90分
	【復習】内部障害に応じた介護についてレポートをまとめる	90分
第4回	重症心身障害に応じた介護	
	【予習】テキスト P 170 ~ P 181までを読んでくる	90分
	【復習】重症心身障害に応じた介護についてレポートをまとめる	90分
第5回	発達障害に応じた介護	
	【予習】テキスト P 229 ~ P 244までを読んでくる	90分
	【復習】発達障害に応じた介護についてレポートをまとめる	90分
第6回	終末期の介護 意義と介護の役割	
	【予習】テキスト P 250 ~ P 262までを読んでくる	90分
	【復習】終末期の意味を学び、ケアの考え方を理解し、介護の役割を考える	90分
第7回	施設での看取りについて	
	【予習】(株)三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」に目を通す	90分
	【復習】今まで実習で体験してきた施設と照らし合わせて内容を考える	90分
第8回	終末期の介護 食事・睡眠を支える介護	
	【予習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第9回	終末期の介護 排泄・清潔を支える介護	
	【予習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第10回	終末期の介護 その人らしさを支える介護	
	【予習】終末期に必要なその人らしさを支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要なその人らしさを支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分

第11回	終末期の介護 死後の支援（エンゼルケア）	
	【予習】エンゼルケアについて調べる	90分
	【復習】死後の支援における介護福祉士の役割について理解を深める	90分
第12回	終末期の介護 グリーフケア	
	【予習】グリーフケアについて調べる	90分
	【復習】グリーフケアについての意義と具体的方法について理解を深める	90分
第13回	終末期の介護 エンディングノート DVD鑑賞	
	【予習】エンディングノートについて調べる	90分
	【復習】DVDを観ての感想をワークシートにまとめる	90分
第14回	終末期の介護 特別講義 「施設での看取りの実際」	
	【予習】実際の現場での看取りについて質問したいことをまとめる	90分
	【復習】施設での看取りの実際の特別講義から考えたことや思いをレポートにまとめる	90分
第15回	終末期の介護 まとめ課題「孤独死を介護福祉士として考える」についてレポート作成	
	【予習】孤独死について調べ、考えをまとめる	60分
	【復習】看とり介護全体から、孤独死を考え、介護福祉士の役割と関連させてレポートを作成する	120分

授業科目名	介護過程				科目コード	W111-42			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	介護福祉論 ~ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習で作製した受け持ち利用者の情報収集から ICF の視点に基づいてアセスメントを理解します。介護過程を展開していく上で、生活課題と目標、介護計画の立案、実施、評価していく際の観点や留意点を学びます。利用者の自立支援の視点に立ち、利用者の状況、状態に応じた介護過程を展開していく能力を身につけます。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ICF の視点をとおしてアセスメントし、計画的に実践・評価することを理解する。</li> <li>2. 利用者の状況に応じて、介護過程を展開できる能力を身につける。</li> <li>3. 事例検討を通して、司会や参加者の役割などカンファレンスに必要な能力を身につける。</li> </ol>								
キーワード	他職種連携、計画立案・実施・評価、再アセスメント、ケースカンファレンス								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9介護過程 中央法規出版 介護福祉教育研究会 「楽しく学ぶ介護過程」 久美出版 大川弥生著								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を十分に理解している。								
LO-2	介護過程の展開を本学作成の ICF モデルシートに的確に記録し、記述することができる。								
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術を ICF の視点を基にして、介護過程の展開に十分に生かすことができる。								
LO-4	介護過程を展開（アセスメント・計画立案・実施評価）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと予習・復習を確実に取り組んでいる。								
LO-5	事例検討会での司会や記録などの役割を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		20		10				100
LO-1	40								40
LO-2			10						10
LO-3	30								30
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考									



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	利用者の全体像をとらえる。報告集作成。計画実習で受け持った利用者の情報を見直し、情報収集の必要性を理解する。情報収集したD1.2.3を見直し、不足している情報を追記する。	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1 - 3の記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集について見直す。	120分
第2回	I C Fの構成要素について確認する。「私(受け持ち利用者 さん)アシストシート」を作成する。	
	【予習】 介護計画実習で記述したD 1 - 3の記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集について見直す。アシストシートを完成させていない場合は仕上げる。	120分
第3回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (1) 自己の事例のアセスメントを展開する。E - 1から課題を明確にしE - 2を完成させる	
	【予習】受け持ち利用者像全体を捉え、本人の思いと現実との差を推察する	60分
	【復習】情報収集からアセスメントについてテキスト、ノートから振り返る。自己の事例でE - 1を完成させる	120分
第4回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (1) 自己の事例のアセスメントを展開する。グループメンバーに受け持ち利用者を紹介し、明確になった生活上の課題を発表し、意見交換を行う。	
	【予習】受け持ち利用者像全体を捉え、本人の思いと現実との差を推察する	60分
	【復習】情報収集からアセスメントについて振り返る。自己の事例でE - 1を完成させる	120分
第5回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (2) 複数の情報を判断していく過程が分かる。I C Fの10の視点から介護上の課題を取り上げ、E - 2から援助計画を考えF表を作成する。課題解決に向けた優先順位と重要性和緊急性について理解する。	
	【予習】テキストP 9 7 - 1 2 6を読んでおく	60分
	【復習】情報を判断していく過程をテキスト、実習の手引き、ノートから振り返る。	120分
第6回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (2) 複数の情報を判断していく過程が分かる。I C Fの10の視点から介護上の課題を取り上げ、E - 2から援助計画を考えF表を作成する。課題解決に向けた優先順位と重要性和緊急性について理解する。	
	【予習】テキストP 9 7 - 1 2 6を読んでおく	60分
	【復習】情報を判断していく過程をテキスト、実習の手引き、ノートから振り返る。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントが理解できる (3) 取り上げた課題の優先順位について分かり、自己の課題についてE - 1・E - 2・Fを見直し発表する準備ができる。	
	【予習】テキストP 9 5 - 1 2 6を再度読み、自己事例を見直す。	60分
	【復習】本時の授業からテキスト、実習の手引きから振り返り自己事例を完成させ提出する	120分
第8回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントが理解できる (3) 取り上げた課題の優先順位について分かり、自己の課題についてE - 1・E - 2・Fを見直し発表する準備ができる。	
	【予習】テキストP 9 5 - 1 2 6を再度読み、自己事例を見直す。	60分
	【復習】本時の授業からテキスト、実習の手引きから振り返り自己事例を完成させ提出する	120分
第9回	介護過程の展開 グループワーク 自己の事例から課題として取り上げたものについて発表する。	
	【予習】情報収集・整理について復習してくる。	90分
	【復習】グループメンバーの意見を受け、自己事例のアセスメントを振り返る	90分
第10回	介護過程の展開 グループワーク 自己の事例から課題として取り上げたものについて発表する。	
	【予習】情報収集・整理について復習してくる。	90分
	【復習】グループメンバーの意見を受け、自己事例のアセスメントを振り返る	90分

第11回	介護過程の展開 共通事例1をとおして、事例の全体像を理解する。10の視点E-1を記述できる(1)	
	【予習】事例の情報を読み全体像を考えておく。ICFの10の視点について復習してくる。	90分
	【復習】テキスト、実習の手引きからICFの10の視点を振り返る。	90分
第12回	介護過程の展開 共通事例1をとおして、事例の全体像を理解する。10の視点E-1を記述できる(1)	
	【予習】事例の情報を読み全体像を考えておく。ICFの10の視点について復習してくる。	90分
	【復習】テキスト、実習の手引きからICFの10の視点を振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 グループワーク 各自で考えた共通事例1の10の視点を、意見交換し、介護上の課題を抽出する。グループでE-1 E-2を作成する	
	【予習】自分で考えた、事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る	90分
第14回	介護過程の展開 グループワーク 各自で考えた共通事例1の10の視点を、意見交換し、介護上の課題を抽出する。グループでE-1 E-2を作成する	
	【予習】自分で考えた、事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る	90分
第15回	介護過程の展開 グループワーク 介護上の課題2つを取り上げ、アセスメントE-2表から援助計画F表を検討していく	
	【予習】自分で考えた事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで意見交換した10の視点E-1・E-2を完成させ提出する	90分
第16回	介護過程の展開 グループワーク 介護上の課題2つを取り上げ、アセスメントE-2表から援助計画F表を検討していく	
	【予習】自分で考えた事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで意見交換した10の視点E-1・E-2を完成させ提出する	90分
第17回	介護過程の実践的展開 介護計画を立案していく過程が理解できる。グループワーク 共通事例1についてアセスメントから課題を引出し、援助計画を立案するプロセスについてグループで検討し、発表の準備ができる。	
	【予習】テキストP96-101を読んでおく。実習の手引きP41を読んでおく。	90分
	【復習】本時の授業内容をテキスト、実習の手引きで振り返る。	90分
第18回	介護過程の実践的展開 介護計画を立案していく過程が理解できる。グループワーク 共通事例1についてアセスメントから課題を引出し、援助計画を立案するプロセスについてグループで検討し、発表の準備ができる。	
	【予習】テキストP96-101を読んでおく。実習の手引きP41を読んでおく。	90分
	【復習】本時の授業内容をテキスト、実習の手引きで振り返る。	90分
第19回	介護過程の実践的展開 共通事例1グループ発表 意見交換	
	【予習】テキストP132-140を読んでおく。実習の手引きP42を読んでおく。	90分
	【復習】介護計画を立案していく過程を振り返る。	90分
第20回	介護過程の実践的展開 共通事例1グループ発表 意見交換	
	【予習】テキストP132-140を読んでおく。実習の手引きP42を読んでおく。	90分
	【復習】介護計画を立案していく過程を振り返る。	90分

第21回	介護過程の実践的展開 共通事例2における事例の全体像についてグループで意見交換し、情報を整理してE-1表を作成する。	
	【予習】共通事例2を読み、事例の全体像を考える	90分
	【復習】10の視点について見直しておく。実習の手引きP10 51~56を参考にする。	90分
第22回	介護過程の実践的展開 共通事例2における事例の全体像についてグループで意見交換し、情報を整理してE-1表を作成する。	
	【予習】共通事例2を読み、事例の全体像を考える	90分
	【復習】10の視点について見直しておく。実習の手引きP10 51~56を参考にする。	90分
第23回	介護過程の実践的展開 共通事例2のアセスメントをおこないE-1からE-2、F表を作成する。	
	【予習】実習の手引きP41を確認しておく。	90分
	【復習】アセスメントする過程を振り返る。	90分
第24回	介護過程の実践的展開 共通事例2のアセスメントをおこないE-1からE-2、F表を作成する。	
	【予習】実習の手引きP41を確認しておく。	90分
	【復習】アセスメントする過程を振り返る。	90分
第25回	介護過程の実践的展開 共通事例2をとおして 介護上の課題そして介護計画を立案していく過程を振り返り E-1・E-2・F表を見直し、発表の準備ができる。	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】テキストP132~147を参考にする。実習の手引きP42を読み確認する。	90分
第26回	介護過程の実践的展開 共通事例2をとおして 介護上の課題そして介護計画を立案していく過程を振り返り E-1・E-2・F表を見直し、発表の準備ができる。	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】テキストP132~147を参考にする。実習の手引きP42を読み確認する。	90分
第27回	介護過程の実践的展開 共通事例2について、発表し意見を交換する	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】グループワークで検討した意見について振り返る。	90分
第28回	介護過程の実践的展開 共通事例2について、発表し意見を交換する	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】グループワークで検討した意見について振り返る。	90分
第29回	介護過程の展開 介護過程の実施と評価、総合評価について理解し、記録用紙G表の記述ができる。	
	【予習】テキストP148~198を読んでおく。実習の手引きP43を読んでおく。	90分
	【復習】介護過程の展開についてテキスト、実習の手引きで確認しておく。	90分
第30回	介護過程の展開 介護過程の実施と評価、総合評価について理解し、記録用紙G表の記述ができる。	
	【予習】テキストP148~198を読んでおく。実習の手引きP43を読んでおく。	90分
	【復習】介護過程の展開についてテキスト、実習の手引きで確認しておく。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-43				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程、介護過程		後継科目	なし					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護過程とケアマネジメントの関連性について学び、介護過程とチームアプローチの必要性について理解を深めます。介護過程実習の自己の事例でケーススタディを行い、グループワークで、意見交換を実践する。MDS方式、包括的自立支援プログラムなど、介護の現場で活用されるアセスメントシートについて知識を深めていきます。								
学習目標	利用者の状況に応じて、応用・活用できるよう能力を養います。 専門職として必要な知識・技術を身に付け、多職種との連携ができる能力を身に付けます。利用者を取り巻く生活環境を意識して、社会の動向に関心を寄せ、よりよい生活支援に取り組むことができる能力を身に付けます。								
キーワード	介護過程の展開、アセスメント、ICF、施設ケアプラン、事例検討								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9介護過程 中央法規出版 「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	実習での経験を踏まえて、介護過程の一連の展開に必要な知識や技術を十分に有している。								
LO-2	アセスメントの内容を適切に文章に表すことができる								
LO-3	ICFの視点を基に、利用者の状況に応じた介護過程の展開を応用・活用することができる。								
LO-4	利用者の状況に応じて対応できるツールを検索し、活用する力を培っている								
LO-5	他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			10						10
LO-5			20						20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程とチームアプローチ自己の介護過程実習を振り返る 情報収集D 1～3 アセスメントE - 1・E - 2を振り返る (1)	
	【予習】介護過程実習で作成した受け持ち利用者のD1.2.3E 1.2F G表を見直してくる	60分
	【復習】自分の事例を発表できるようにまとめる	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 自己の事例におけるアセスメントから介護計画F、Gまでを見直し発表できるようまとめる。(2)	
	【予習】自己の事例を見直す	60分
	【復習】自己の事例を振り返りシートに記入する	120分
第3回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る ケーススタディの作成(担当教員から助言を受け自己の事例を既定の用紙に記述する)(1)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員に助言を受け自己の事例を振り返る	120分
第4回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る ケーススタディの作成 (2)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員の助言を受け、自己の事例を既定の用紙のまとめる	120分
第5回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例を発表する グループワーク (1)	
	【予習】自己の事例について見直す	60分
	【復習】発表メンバーの事例を振り返りシートに記入する	120分
第6回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例を発表する グループワーク(2)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】発表メンバーの事例を振り返りシートに記入する	120分
第7回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例発表 グループワーク(3)	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	60分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	60分
第8回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る 事例の発表 グループワーク(4)	
	【予習】テキストP 66～120を読んでおく	60分
	【復習】介護過程実習から自己の情報収集について振り返る グループワークの振り返りシートを見直す	60分
第9回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る アセスメント(情報の分析・意味付け・統合)から課題の把握 MDSを用いたアセスメントの展開	
	【予習】テキストP 120～149を読んでおく	60分
	【復習】介護過程実習の自己事例から課題の把握と介護計画の立案を振り返る グループワークでの振り返りシートを見直す	60分
第10回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る 情報収集からアセスメント三団体方式によるアセスメントの展開	
	【予習】テキストP 129～204を読んでおく	60分
	【復習】介護過程実習における自己の事例の介護計画立案、実施 評価を振り返る グループワークの振り返りシートを見直す。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 特別講義	
	【予習】前回までのアセスメント方式を見直しておく	60分
	【復習】特別講義を受け、気づいたことを整理してレポートし、提出する	120分
第12回	介護過程の実践的展開 介護過程の展開 認知症の事例におけるケアプランの実際	
	【予習】ケアプランにおける展開についてテキストを見直す	60分
	【復習】事例における介護過程の展開を振り返る	120分
第13回	介護過程の実践的展開 介護施設におけるケアプランの実際（障害のある利用者の場合） 特別講義実施	
	【予習】介護保険で使用するアセスメントツールをテキストから見直す	60分
	【復習】介護過程とケアプランの違いを見直す	120分
第14回	介護過程の実践的展開 在宅におけるケアプランの実際（在宅で活用されるアセスメントツール）	
	【予習】介護保険における在宅サービスについて調べて置く	60分
	【復習】介護保険におけるケアプランと介護過程の展開についてテキストから復習しておく	120分
第15回	介護過程の展開 介護過程の展開において専門職として守るべき倫理、道徳、姿勢を考えまとめる『課題作成』	
	【予習】これまで学んだ介護過程の展開のまとめをする	60分
	【復習】専門職としてあるべき姿を見据える	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-52				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	実習指導、介護福祉論、社会保障、介護過程、介護過程								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、介護過程実習に向けての課題を明確にします。また、グループワーク等により、各々の体験の共有化を図り、学びを深めます。								
学習目標	介護過程実習の目的や到達目標を理解し、実習への自己目標や心構えを確かなものにする。								
キーワード	介護過程、情報収集、アセスメント、介護計画立案・実施・評価 夜勤実習								
テキスト・ 参考書等	平成27年度富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程実習の実習目的・目標、実習内容などを理解する。								
LO-2									
LO-3	介護過程実習における実習期間の自己の実習プログラムを計画する。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			50						50
LO-4									
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護計画実習事後指導(1) 介護計画実習を振り返る 介護過程実習、総合実習の配属について説明を受け、希望する施設・事業所の希望を考える。	
	【予習】介護計画実習のファイルやメモを見て、自分で振り返りを行う。	90分
	【復習】実習希望施設の場所の確認、概要の確認を行う。	90分
第2回	介護計画実習事後指導(2) グループ別実習報告を行い、利用者との関わりからの気付きや学び、介護職員や関連職種への態度や姿勢から学んだこと、指導で指摘されたこと等を話し合い、自分の体験と照らし合わせての差異から考え方を深める。	
	【予習】グループ演習ワークシートを記入しておく。	90分
	【復習】他の学生の体験も自分の体験を通して学んだことと同様になるよう、討議で出た意見をまとめ、さらなる利用者理解や専門職としてのあり方についての理解を深める。	90分
第3回	介護計画実習事後指導(3) 実習の評価を知り、次の介護過程実習へつなげる。	
	【予習】介護計画実習の記録や自己評価表、手引きの評価部分を見て、自分自身の10日間の実習を客観的に振り返る。	90分
	【復習】実習先の評価と自己評価の違いの原因を考える。今後の目標に向けてどのような努力をしていかなければならないのか、自分の行動目標と向き合う。	90分
第4回	介護過程実習事前指導(1) 介護過程実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの過程実習の内容を読む。	90分
	【復習】介護過程実習の全体の進め方を確認する。	90分
第5回	介護過程実習事前指導(2) 介護過程実習における記録内容と様式を理解する E-1表、E-2表	
	【予習】前回計画実習のD表1～3を見直す。実習の手引き介護過程実習の目標を確認し、記録用紙E-1表、E-2表の記載の視点をよく読む。	90分
	【復習】資料に基づき、E-1表、E-2表の目的と書き方について理解する。	90分
第6回	介護過程実習事前指導(3) 介護過程実習における記録内容と様式を理解する F表、G表	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目標を確認し、記録用紙F表、G表の記載の視点をよく読む。	90分
	【復習】資料に基づき、F表、G表の目的と書き方について理解する。	90分
第7回	介護過程実習事前指導(4) 介護過程実習における自己の課題を明確にする。	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目的と到達目標を確認する	90分
	【復習】介護計画実習からの自己課題を明確にし、設定した自己目標を確認し、どのようにすれば達成できるか、具体的な行動目標を明らかにする。	90分
第8回	介護過程実習事前指導(5) 介護過程特別講義を聴講する。	
	【予習】介護過程実習の内容を見直す。	90分
	【復習】特別講義を受けて気づいたことをまとめレポートする	90分
第9回	介護過程実習事前指導(6) 事前レポートを作成する	
	【予習】第7回の実習指導で明確になった目標・課題を思い出し、シートに記入しておく。	90分
	【復習】事前レポートを完成させる。	90分
第10回	介護過程実習事前指導(7) 「受け持ちしたい利用者像」を作成する。	
	【予習】介護計画実習で受け持ちたい利用者との関わりを振り返りや見出した課題から、介護過程実習で受け持ちたい利用者を考える。	90分
	【復習】「受け持ちしたい利用者像」と自己課題との関連性を確認する。	90分



第11回	介護過程実習事前指導（8）経験録より生活支援技術の到達度と自己評価を振り分け、自己の実習プログラムを計画する。夜勤実習、通所介護・通所リハビリ体験実習をすることを理解する。	
	【予習】介護課程実習の内容を見直す。手引きを基に、4週間のシミュレーションを行う。	90分
	【復習】実習の手引きを参考に、4週間の介護過程実習の自己プログラムを見直す。	90分
第12回	介護過程実習事前指導（9）事前オリエンテーション実習記録の記述方法、注意事項について理解できる。	
	【予習】受け持ちたい利用者像と自己の課題を見直す。	90分
	【復習】介護過程実習の記録方法、注意事項について確認する	90分
第13回	介護過程実習事前指導（10）介護過程の展開についての理解を深める。	
	【予習】介護過程実習における介護過程記録用紙の記入の仕方等を振り返る。	90分
	【復習】介護過程の授業と関連して、具体的な記入方法を理解する。	90分
第14回	介護過程実習事前指導（11）介護過程の展開についての理解を深める。	
	【予習】D-1.2.3表、E-1.2表、F表、G表の記入方法や書き方の視点をしっかり理解する。	90分
	【復習】介護過程の授業と関連して、具体的な記入方法を理解する。	90分
第15回	介護過程実習事前指導（12）介護過程実習に向けての自己の考えを明らかにできる。	
	【予習】手引きやこれまでの資料から介護過程実習の意義と目的、自己目標を関連付けて考えをまとめる。	90分
	【復習】介護過程実習の自己課題・目標が達成できるよう、より考えを深める。	90分

授業科目名	<b>実習指導</b>			科目コード	W111-53				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護過程実習		後継科目						
関連科目	実習指導 生活支援技術 ~								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	学生自ら設定する学習課題に基づき、介護福祉士として必要な能力を総合的に習得します。								
学習目標	さまざまな利用者の暮らし、多様な介護サービスのあり方を検討する。主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身に付ける。								
キーワード	多様な介護サービス 自主的 自己課題 介護観								
テキスト・ 参考書等	2021年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	様々な利用者の全体像を総合的に理解し、個別性を踏まえたうえで、ケアのあり方を理解する								
LO-2	自立に向けた生活支援技術のあり方を考え、実践することができる。生活意欲を引き出すコミュニケーションを工夫できる。生活支援技術の到達レベルを確認し、補完することができる								
LO-3	チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的理解できる								
LO-4	自己の課題の達成に向けて計画的に、取り組むことができる。各自の介護観について理解を深めることができる								
LO-5	協調性や責任感があり、意欲的に取り組むことが十分にできる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		50						100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3			50						50
LO-4									
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程実習の事後指導（1）実習を振り返り自己の達成度を確認する	
	【予習】実習記録、経験録を見直す	30分
	【復習】自己評価を見ながら振り返る	30分
第2回	介護過程実習の事後指導（2）自己の事例を整理する	
	【予習】受け持った利用者の記録D1～3、E-1・E-2,F,G表を見直す	30分
	【復習】受け持った利用者の記録で、情報や内容があいまいなところを訂正する。既定の方法で整理する	30分
第3回	総合実習の目的、意義について理解する。実習配属事業の確認とリーダーを決める	
	【予習】実習の手引き総合実習の内容を確認	40分
	【復習】総合実習の流れ（プログラム）を確認する。配属先（事業所）の特徴を調べておく	20分
第4回	多様な施設における介護の展開について理解できる。DVD グループワーク	
	【予習】実習施設の特徴をすべて調べる	30分
	【復習】各事業所のサービスについてその特徴を確認しておく	30分
第5回	特別講義を受ける	
	【予習】総合実習について実習の手引きを見直す	40分
	【復習】特別講義を受けて気づいたことをレポートにして提出する	20分
第6回	グループワークを通して、総合実習における自己の課題を明確にする	
	【予習】今までの実習を振り返り、到達していないこと、苦手なことなどをまとめておく	30分
	【復習】グループワークで意見交換したことから自己の課題を整理しておく	30分
第7回	総合実習における自己の課題を設定し、完成させて提出する	
	【予習】今までの実習記録や経験録、事前事後レポートを見直す	20分
	【復習】他者の意見を聞き、自己の課題を確認しておく	25分
第8回	総合実習事前訪問	
	【予習】事前訪問時の注意事項を確認しておく	20分
	【復習】事前訪問で受けた説明についてA表に記載する	25分
第9回	自己の課題を踏まえ、自主的な実習になるための自己プログラムを作成する	
	【予習】実習の手引き 総合実習のプログラムを見ておく	20分
	【復習】他者の意見を聞き自己のプログラムを見直す	40分
第10回	実習事前報告 事前訪問で気づいたこと、注意事項を報告する。他者の意見を受け実習の課題を確認する	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】他者の意見を聞き、自己の課題を確認しておく	40分

第11回	総合実習最終オリエンテーション	
	【予習】実習に必要なことを確認しておく	20分
	【復習】自己のプログラムを見直して実習に備える	25分
第12回	事後報告 事後レポートを確認する	
	【予習】実習終了し、自己の課題について振り返り事後レポートを完成させておく	20分
	【復習】実習が終了し、他者の意見を聞いて、学んだことを整理しておく	25分
第13回	総合実習を終えて グループワーク（1） 自己課題の達成と介護に対する考え	
	【予習】実習記録 事前事後レポート 経験録を見直す	20分
	【復習】グループワークの意見を受け、自己の課題を整理しておく	40分
第14回	総合実習を終えてグループワーク（2） 介護に対する考え	
	【予習】前回の意見を踏まえ、自己の意見を整理しておく	20分
	【復習】他者の意見を受け、自己の介護観をレポート提出する	40分
第15回	総合実習報告会 発表	
	【予習】自己の総合実習の記録すべてを整理しておく	20分
	【復習】報告会における意見、感想を受け振り返りを行いレポートを提出する	40分

授業科目名	介護過程実習			科目コード	W111-62				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護計画実習		後継科目	総合実習 実習指導					
関連科目	介護過程 、 、 、 基礎実習 実習指導 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための「受け持ち利用者」の介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正という介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。								
学習目標	「受け持ち利用者」のアセスメント・計画・立案・実践・評価・修正といった介護過程のプロセスを全面的に理解する。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実践することができる。								
キーワード	介護計画立案・実施・評価 受け持ち利用者 生活支援技術 夜勤実習 通所介護・通所リハビリ実習								
テキスト・ 参考書等	平成26年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。さまざまな社会資源を知り、活用の仕方が理解できる。								
LO-2	個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。生活支援技術の習得には、積み重ねが必要であることを理解できる。								
LO-3	ニーズを踏まえた実行可能な介護計画を立案し、実施、評価、修正ができる。介護過程や実施した事柄を具体的に簡潔に記録することができる。								
LO-4	受け持ち利用者の援助を中心に、他の職種・職員との協働を体験する。専門性のあり方について理解できる。								
LO-5	居宅サービスを体験し、施設と地域とのつながりが理解できる。個別性を尊重した自立支援について理解を深めることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】1日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。持ち物の確認を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	30分
第2回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】2日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。受け持ち利用者を決定するための情報を整理する。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	30分
第3回	受け持ち利用者の決定。(候補者を2、3人あげ、指導者に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し、同意を得る) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】3日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	30分
第4回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】4日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	30分
第5回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】5日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にして記入していく。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする。	30分
第6回	受け持ち利用者の情報収集・確認(再度、不足している情報を多方面から収集する。追加・訂正したものを指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】6日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報を記入し、仕上げる。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする。	30分
第7回	受け持ち利用者の情報収集完成(実習の手引きの記入上の留意点を再度確認し、全体像を捉えていく。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】7日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。完成したD1.2.3表を基に、10の介護の視点を文章化していく。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を介護上の課題を明確にするために、介護の10の視点から情報の意味づけ、統合を行う。	30分
第8回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】8日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表を記入する。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	30分
第9回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】9日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表、F表を記入する。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	30分
第10回	中間カンファレンス(D-1.2.3表、E-1.2表、F表を基に、生活上の課題及び援助の方向性、具体的援助内容について説明し、助言を得る) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】10日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。中間カンファレンスの準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。中間カンファレンスの振り返りをし、記録を整理する。	30分

第11回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】11日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	30分
第12回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】12日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	30分
第13回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	30分
第14回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	30分
第15回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者と交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】15日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第16回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者との交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】16日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第17回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】17日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第18回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】18日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第19回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】19日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第20回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】20日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分

第21回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】21日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第22回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】22日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	30分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	30分
第23回	まとめ・反省会 介護計画立案・実践・評価という一連の介護過程を振り返る。利用者にとって計画はどのような意義があったのかを総合評価する。設定した実習の自己目標が達成できたかどうか、実習全体をとおして気づいたことをまとめる	
	【予習】23日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。反省会に向けての準備をする	30分
	【復習】全ての記録類を確認して、提出用ファイルに綴じて提出する お礼状を書く	30分



授業科目名	総合実習			科目コード	W111-63				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護	担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博						
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	実習指導	後継科目	実習指導						
関連科目	実習指導、基礎実習 計画実習 過程実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士資格取得								
授業の概要	実習施設、事業所において実習指導者の指示、助言を受け、自己の課題を目標に自主的な姿勢で実習を展開する								
学習目標	1 さまざまな利用者の暮らし等を知り、多様な介護サービスのあり方を理解する 2 主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身につける								
キーワード	利用者理解 主体性 自己プログラム チームワーク 介護観								
テキスト・ 参考書等	実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者理解 さまざまな利用者の全体像を総合的に理解する。個別性を踏まえたうえでのケアの在り方を理解する								
LO-2	記録と計画 利用者の全体像が分かるように具体的に記述する 見学・体験した事柄を実習記録に記述することができる								
LO-3	生活支援技術 自立に向けた技術・意欲を引き出すコミュニケーションを工夫し、技術の到達レベルを確認できる								
LO-4	チームワーク チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的に理解できる								
LO-5	実習課題自己の課題の達成に向け計画的に取り組み、介護観について理解を深める								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前オリエンテーション 施設見学 事前レポートの提示	
	【予習】事前レポートの確認 オリエンテーションの記録内容の確認 質問内容	30分
	【復習】オリエンテーションを受けてきた内容を確認し記録する	30分
第2回	施設の一日の流れを知る 利用者の生活環境と一日の過ごし方を理解する 利用者との意図的なかかわりを実践する	
	【予習】実習の計画表を立て確認する	30分
	【復習】一日の実習を振り返り、見学・体験したことを記録に記載していく 翌日の自己の目標を考える	30分
第3回	実習指導者の説明を受け、基本的な生活支援技術を見学・体験していく ミニカンファレンスで気づいたことを発表し助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第4回	実習指導者の説明を受け基本的な生活支援技術の見学・体験をする ミニカンファレンスで気づいたことを発表し、助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第5回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第6回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第7回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第8回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第9回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第10回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分

第11回	利用者と意図的なかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	30分
第12回	利用者と意図的なかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る 最終カンファレンスの準備をする	30分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 自己目標の振り返りをする	30分

授業科目名	ことごとからだのしくみ			科目コード	W112-13				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - ことごとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	ことごとからだのしくみ ・ ・		後継科目	なし					
関連科目	発達と老化の理解 ・ ・、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	排泄、休息・睡眠の介護実践の場面に応じたことごとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする。 人生の最終段階にある人と家族を支援するため、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識を理解する内容とする。								
学習目標	排泄、休息・睡眠の介護に必要なことごとからだの仕組みに関する基本的知識を身につける。 本人と家族の自立した生活を維持するために必要な心理・社会的支援の基礎的知識を身につける。 人生の最終段階にある人と家族を支援するための基礎的知識を身につける。								
キーワード	排泄、休息、睡眠、ターミナル、人生の最終段階、死の判定								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「ことごとからだのしくみ」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	排泄、休養・睡眠のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。 人生の最終段階にある人と家族を支援するための基礎的知識がある。								
LO-2	排泄、休養・睡眠の観察のポイントについて説明できる。 人生の最終段階にある人と家族へのコミュニケーション技術がある。								
LO-3	心身の機能低下が排泄、休養・睡眠に及ぼす影響とその対応についての思考力・判断力がある。 人生の最終段階にある人と家族への支援について思考力・判断力がある。								
LO-4	排泄、休養・睡眠のケアについて科学的根拠に基づき主体的に学び続ける力がある。 人生の最終段階にある人と家族への支援について主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	排泄、休養・睡眠のケアが必要な人の思いに共感する力がある。 人間の尊厳について考え、人生の最終段階の人に共感する力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	20	30			20			100
LO-1	30								30
LO-2		10				10			20
LO-3		10	10						20
LO-4			10						10
LO-5			10			10			20
備考	その他 A は授業での発表や態度をもって評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ	
	【予習】教科書208～218をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ	
	【予習】教科書219～220の演習問題を考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響	
	【予習】教科書221～230をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書232～237をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	第8章 休息・睡眠に関連したことごとからだのしくみ 第1節 休息・睡眠のしくみ	
	【予習】教科書240～247をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第8章 休息・睡眠に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響	
	【予習】教科書250～256をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	第8章 休息・睡眠に関連したことごとからだのしくみ 第3節 変化の気づくためのポイント	
	【予習】教科書258～261をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第1節 人生の最終段階に関する「死」のとりえ方	
	【予習】教科書264～274をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第1節 人生の最終段階に関する「死」のとりえ方	
	【予習】教科書264～274をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第10回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第2節 「死」に対することごとの理解	
	【予習】教科書275～280をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

第11回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第3節 終末期から危篤状態、死後のからだの理解	
	【予習】教科書282～289をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第3節 終末期から危篤状態、死後のからだの理解	
	【予習】教科書282～289をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第4節 終末期における医療職との連携	
	【予習】教科書282～289をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したことごとからだのしくみ 第4節 終末期における医療職との連携	
	【予習】教科書291～299をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでのノートなど目をとおしてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころからだのしくみ		担当教員名	串田 美代志					
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を展開する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論		後継科目	ターミナルケア論					
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な心理と行動、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	認知症の人の機能の変化と日常生活への影響を知り、一人ひとりの症状に合った対応方法を考えることができる。								
LO-3	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り、対応方法を説明し、行動することが十分できる。								
LO-4	認知症高齢者支援対策として展開されている行政施策を理解し、自分の住む地域のサポート体制の必要性について知識を深めようと積極的に行動することができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や介護者の思いや感情を体験し、適切な具体的な関わり方について十分理解することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	10	20		40				100
LO-1	10	10							20
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症当事者の人の気持ちを推察する	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】テキストP123～P137までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP138演習	90分
第3回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症の人の行動の根拠を考える	120分
	【復習】認知症ケアに関する論文を読む	60分
第4回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（4）事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（2） 事例：バリテーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリテーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリテーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第6回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（3） 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア、エンパワメント	
	【予習】テキストP258～P275まで読む	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	介護福祉職への支援	
	【予習】テキストP277～P290まで読む	90分
	【復習】介護福祉職が働きやすい職場環境について考える	90分



第11回	認知症の人の地域支援	
	【予習】テキストP294～P321まで読む	90分
	【復習】認知症の人を支える制度や機関、地域づくりについて理解を深める	90分
第12回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式	
	【予習】センター方式シートを理解する	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 ひもときシート	
	【予習】ひもときシートについて調べる	120分
	【復習】ひもときシートを理解する	60分
第15回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の進行に応じた介護	
	【予習】	90分
	【復習】園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法などについて理解を深める	90分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ , ,								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的・心理的知識を習得し、特性に応じた支援を理解する。 障害のある人の地域のサポート体制と多職種連携・協働について理解する。 家族の支援と介護負担に軽減について理解する。								
キーワード	知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害、難病、多職種連携、家族支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2	障害のある人の尊厳を踏まえ、障害特性に応じたケアについて説明できる。								
LO-3	障害の特性、支援方法を踏まえ、利用者がよりよく生活するための介護を考える事ができる。								
LO-4	障害のある人の課題を自分のこととして考え、その解決にむけて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	障害の有無に関わらずすべての人を受容、共感することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	30			10			100
LO-1	10	20							30
LO-2	10								10
LO-3	10		10						20
LO-4			10			10			20
LO-5	10		10						20
備考	その他は授業態度、受講後の感想など 感染状況を考慮し、個人ワーク、グループワークを取り入れる。授業アンケートでの質問は必要に応じ授業で共有。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、障害者ケア論 の振り返りと障害者ケア論 の学習目標を理解する。	
	【予習】障害の概念と障害福祉の基礎理念について障害者ケア論 のテキスト・資料を確認してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、障害者ケア論 で学ぶことについてノートを整理する。	90分
第2回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害とは、障害の原因、障害の特性に応じた支援、ライフステージに応じた関わりについて理解する	
	【予習】テキストP160～P171ページをよく読み、知的障害について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害者の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、知的障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第4回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害とは、障害の種類、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】 テキストP172～P183をよく読んで精神障害の種類と特性について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理し、精神障害者の支援について考える。	90分
第5回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、精神障害への支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第3節 高次脳機能障害 : 高次脳機能障害とは、障害の原因、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する	
	【予習】テキストP184～P195について、よく読んで高次脳機能障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 : 高次脳機能障害の支援の実際を理解する	
	【予習】前回の授業を振り返り、高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第8回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 発達障害とは、障害ごとの特性を理解する。	
	【予習】テキストP197～P202をよく読み、発達障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 生活の特性と生活支援、保護者の支援、支援機関について理解する。	
	【予習】テキストP203～P209をよく読み、発達障害者の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、資料等からノートを整理する	90分
第10回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病とは、おもな難病の理解、難病の特性の理解、難病の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】テキストP210～P219をよく読んで、難病について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分

第11回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病支援の実際(特別講義)	
	【予習】テキストをよく読み、こころからのしくみ(脳、神経)を学習する	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	第4章 連携と協働 第1節 地域のサポート体制について理解する(特別講義)。	
	【予習】テキストP224～P237をよく読んで、地域のサポート体制について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第13回	第4章 連携と協働 第2節 チームアプローチについて理解する。	
	【予習】テキストP238～P246をよく読んで、チームアプローチについて調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、チームアプローチについて考える。	90分
第14回	第5章 家族への支援 第1節 家族への支援について理解する。	
	【予習】テキストP250～P261をよく読んで家族の支援について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、家族の支援について考える。	90分
第15回	第5章 家族への支援 第2節 家族の介護力の評価と介護負担軽減について理解する。まとめ	
	【予習】テキストP262～P274をよく読んで、家族の介護力の評価について調べてくる。	90分
	【復習】家族の介護力を踏まえた支援について考える。定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W113-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 医療的ケア		担当教員名	中島 眞由美 松居 紀久子					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し医療的ケアが必要な児・者及びその家族の相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)	[こころとからだのしくみ ・ ・ ・ ]		後継科目	医療的ケア					
関連科目	人間の尊厳と自立、社会保障論、障害者ケア論 ・ ・ ・ 、介護の基本 ・ ・ ・ 、生活支援技術 ・ ・ ・ 、感染症予防とリスクマネジメント、チームワークと多職種連携								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	医療的ケアの制度の概要、個人の尊厳と自立、倫理上の留意点、感染予防、安全管理体制等について基礎的知識を理解する内容とする。 喀痰吸引及び経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう基礎知識と実施手順を理解する内容とする。								
学習目標	1．法制度や倫理、職種の役割、救急蘇生法、感染予防など、医療的ケアを安全・適切に実施する上での基礎的知識を得る。 2．喀痰吸引に必要な人体の構造と機能、喀痰吸引を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 3．経管栄養に必要な人体の構造と機能、経管栄養を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。								
キーワード	介護業務 医療的ケア 痰の吸引 経管栄養 救急蘇生法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編「医療的ケア」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「こころとからだのしくみ」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「社会の理解」中央法規、介護福祉士養成講座編「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医行為に関連する法律や医療倫理、たんの吸引や経管栄養の実際の手順や留意点、救急蘇生法など、医療的ケアを安全・適切に実施するための基本的知識がある。								
LO-2	医療的ケアを安全に実施するための感染予防・健康チェックなどの基本的技能をもっている								
LO-3	医療的ケアの対象者とその範囲を理解し、提示された事例で適切に判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	医療的ケアを実施するにあたって本人及び家族に思いに共感し、人間の尊厳を考えることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	50		10						60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5			10						10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度。 授業アンケートでの質問は必要に応じ次の授業で共有する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章医療的ケア実施の基礎 第1節医療的ケア 医療的ケアとは何か 医療的ケアについて学ぶ意義 医行為について テキストP2～4 中島 1回～2 1回	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護の概念を復習してくる。	90分
	【復習】医療的ケアとは何か、医療行為は法的にはどのような行為か整理する。	60分
第2回	第1章第1節医療的ケア 喀痰吸引等制度 医療制度とその変遷 社会福祉士及び介護福祉士法の改正 喀痰吸引等制度の概要 テキストP11～21	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉士が医療的ケアを行う要件を整理する。	60分
第3回	第1章第1節医療的ケア 医療の倫理について 自己決定 個人の尊厳と自立 利用者・家族の気持ちの理解 テキストP4～11	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】日本介護福祉士会倫理綱領、介護福祉士法の義務規定、個人の尊厳について整理する。	60分
第4回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 喀痰吸引等研修と介護福祉士養成課程における医療的ケア テキストP21～27	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉職による喀痰吸引等制度と医療的ケアについて整理する。	60分
第5回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアを取り巻くその他の制度 介護保険法 障害者総合支援法 テキストP28～35	
	【予習】社会保障論で学習した制度について復習してくる。	90分
	【復習】医療的ケアを取り巻くその他の制度について整理する。	60分
第6回	第1章第2節安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性 リスクマネジメントの考え方と枠組み ヒヤリハット・アクシデント P37～P44	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護における安全の確保とリスクマネジメントについて復習してくる。	90分
	【復習】安全に喀痰吸引を行う重要性、リスクマネジメントの必要性を再確認する。ヒヤリハットとアクシデントの違いを整理する。	60分
第7回	第1章第3節清潔保持と感染予防 感染予防の基礎知識と正しい手洗い方法 うがい方法について テキストP62～68	
	【予習】介護福祉論 で学習した感染症対策について復習してくる。	90分
	【復習】感染を予防する標準予防策について整理する。	60分
第8回	第1章第3節清潔保持と感染予防 介護福祉職自身の健康管理と感染予防 P69～72	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、介護職の健康管理について理解する。	90分
	【復習】予防接種の種類、ケア内容と防護の必要性について整理しておく。	60分
第9回	第1章第3節清潔保持と感染予防 療養環境の清潔と消毒法 滅菌と消毒 テキストP72～78	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点を整理しておく。	60分
第10回	第1章第4節健康状態の把握 身体・精神の平常状態 バイタルサイン テキストP80～89	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、バイタルサインについて調べておく。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、自分の体温、脈拍をチェックしてみる。	60分

第11回	第1章第4節 健康状態の把握 急変状態 急変時の対応と事前準備 テキストP89～92	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、急変状態とその対応について整理しておく。	60分
第12回	第2章喀痰吸引 第1節高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみとはたらき いつもと違う呼吸状態 テキストP96～102	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、呼吸のしくみを調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、いつもと違う呼吸状態について整理する。	60分
第13回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 喀痰吸引とは テキストP102～106	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、喀痰吸引とはどのようなものか説明できるようにする。	60分
第14回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器と吸引 P107～115	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第15回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器装着者の生活上の留意点 人工呼吸器装着者の呼吸管理に関する医師・看護職との連携 テキストP115～118	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、人工呼吸器装着者の生活上の留意点について整理する。	60分
第16回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 子どもの吸引 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 説明と同意 P118～126	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、子どもの吸引について整理し、子ども及び保護者の気持ちと対応をまとめて書く。	60分
第17回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸器系の感染と予防 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全管理 テキストP126～136	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、吸引時に想定されるトラブルと対応事例について整理する。	60分
第18回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 急変・事故発生時の対応と事前対策 まとめ テキストP136～142	
	【予習】喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認について復習してくる。	90分
	【復習】第1節を振り返り、喀痰吸引の基礎的知識を整理しておく。	60分
第19回	第2章第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順 喀痰吸引実施の手順と留意点1 テキストP142～159	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、喀痰吸引前の観察項目についてわからないことは調べて記録する。	60分
第20回	第2章第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引の実施手順と留意点2 P142～159	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、吸引の実施手順について整理する。	60分

第21回	第2章第2節高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引にともなうケア 報告および記録 P159～166	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引におけるケアについて整理する。	60分
第22回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系のしくみと働き P168～174 松居 2 2回～3 3回	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、図3-1や簡略な消化器系統図を書く。	60分
第23回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系の主な症状 P174～175	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、消化器のしくみをまとめる。	60分
第24回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養とは P176～182	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第25回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養の実施上の留意点 P182～185	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第26回	第3章 第1節 経管栄養概論 子どもの経管栄養 P185～188	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、成人との違いを考える。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第27回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養に関する感染と予防、利用者・家族の対応、同意と説明 P188～192	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第28回	第3章 第1節 経管栄養概論 危険、注入後の安全確認 急変・事故発生時の対応と事前対策 P193～204	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからないところを出してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第29回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P205～220	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第30回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P205～220	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分



第31回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 経管栄養に必要なケアと報告・記録 P220～229	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、経管栄養についてまとめる。	60分
第32回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 必要物品の準備 P46～58	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、デモンストレーションを実施する。	60分
第33回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 AED P58～61	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第34回	まとめ 医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引、経管栄養についての基礎的知識についてまとめる。	
	【予習】学習したこと全体を復習し、疑問点を出す。	90分
	【復習】期末試験に備えまとめる。	60分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W113-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 医療的ケア		担当教員名	中島 眞由美 松居 紀久子					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し医療的ケアが必要な児・者及びその家族の相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	医療的ケア		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ ・ ・ ・ 、感染予防とリスクマネジメント								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	喀痰吸引及び経管栄養について、根拠に基づき安全かつ確実に実施できるよう、シミュレーターを用いて学習します。また、救急蘇生をデモンストレーションに見て、手引きに基づき実施します。								
学習目標	1 医療的ケアを安全適切に実施するために基礎的な知識・技術に基づき確実な実施ができる。 たんの吸引をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。 経管栄養をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。 2 救急蘇生法をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。								
キーワード	医療的ケア たんの吸引 経管栄養 救急蘇生法 介護業務								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「医療的ケア」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療的ケアを安全に効果的に実施する上で必要な知識を有している。								
LO-2	医療的ケアを安全・適切に実施するための技能を有しており、5回以上実施手順に基づき全工程を実施できる。								
LO-3	利用者の状態に応じた医療的ケアについて考え判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に技術を身に着ける意欲がある。								
LO-5	医療的ケアをシミュレーターを用いてグループメンバー同士で協力し合い円滑に進むよう行動できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		50	20			100
LO-1			20						20
LO-2					50				50
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業の参加態度に点数をつける。授業アンケートでの質問は必要に応じ次回授業で全体で共有する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	経管栄養演習1 胃ろうデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケアを復習してくる。	30分
	【復習】本日実施したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	30分
第2回	経管栄養演習2 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに従い12回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第3回	経管栄養演習3 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	30分
第4回	経管栄養演習4 胃ろうのケアまとめ 口腔内・喀痰吸引を一人ずつチェックリストに従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票の基づき、振り返る。	30分
第5回	経管栄養演習5 経鼻経管栄養のケアデモンストレーション 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】医療的ケア で学んだことを復習してくる。	30分
	【復習】本日学習したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	30分
第6回	経管栄養演習6 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第7回	経管栄養演習7 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第8回	経管栄養演習8 経鼻経管栄養のケアまとめ 一人ずつチェックリストにもとづき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第9回	喀痰吸引演習1 口腔内吸引・鼻腔内吸引のデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	30分
	【復習】本日実施したおことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	30分
第10回	喀痰吸引演習2 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分

第11回	喀痰吸引演習3 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第12回	喀痰吸引演習4 口腔内吸引・鼻腔内吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第13回	喀痰吸引演習5 気管カニューレ内部の吸引デモンストレーション 必要物品・手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	30分
第14回	喀痰吸引演習6 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第15回	喀痰吸引演習7 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第16回	喀痰吸引演習8 気管カニューレ内部の吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第17回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】教科書を読んでくる。	30分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	30分
第18回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】教科書を読んでくる。	30分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	30分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-20				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	蜷川 泰子					
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論、社会保障論、		後継科目						
関連科目	地域福祉論、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	高齢者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を習得する学習とする。また、高齢者福祉、障害者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を習得する学習とする。								
学習目標	高齢者福祉制度の基本的な考え方としくみ、介護保険制度の内容を理解し、高齢者福祉の現状と課題を捉える。また、高齢者支援の方法やあり方について理解を深める。								
キーワード	高齢者支援、ケアマネジメント、介護								
テキスト・ 参考書等	最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉(中央法規)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識/理解力】高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解できるとともに、法制度や支援の仕組みを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】高齢者介護に関係する技術や実践力に関する能力・技術を備える。								
LO-3	【分析・判断力】高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について考える能力を有している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会の状況や高齢者福祉の動向などに関心をもち、専門職として意欲的な態度をもつことができる。								
LO-5	【全人的総合力】超高齢社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2	10								10
LO-3	20								20
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢者の定義と特性	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	高齢者の生活実態	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	高齢者を取り巻く社会環境	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第4回	高齢者福祉の理念、高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の発展過程	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	介護保険法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	老人福祉法、高齢者医療確保法、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	高齢者虐待防止法、バリアフリー新法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	高齢者と家族の支援における関係機関の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	関連する専門職等の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	高齢者と家族等に対する支援の実際	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	個人の権利を守る制度の概要	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第13回	地域生活を支援する制度や施策の概要（生活困窮者自立支援法、認知症施策、災害要援護者対策、自殺対策など）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第14回	保健医療に関する施策の概要（特定健康診査、生活習慣病予防、その他健康づくりのための施策、難病対策、結核・感染症対策ほか）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第15回	介護と関連領域との連携に必要な制度、生活保護制度の概要	
	【予習】1回から14回までのテキスト範囲、配布資料と該当する部分の国試ナビを見てくる	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

授業科目名	障害者福祉論			科目コード	W121-30				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目	社会保障論、障害者ケア論、医療的ケア								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解します。障害者福祉制度の発展過程についても学びます。また、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む。）について理解を持ちます。								
学習目標	障害者総合支援制度創設の背景及び目的がわかる。障害者自立支援制度のしくみの基礎的理解ができる。障害者自立支援制度における組織、団体の機能と役割をとらえられる。								
キーワード	障害者自立支援法、障害者基本計画								
テキスト・ 参考書等	中央法規 新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識 / 理解力】障害者福祉の経緯や障害者観の変遷、制度の発展過程などを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】障害者に対する法制度と支援の仕組みを説明できる。								
LO-3	【分析・判断力】障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境のあり方について考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】障害者の福祉・介護需要の実態や、障害者の地域移行や就労の実態など広く関心を深められる。								
LO-5	【全人的総合力】社会的包摂の社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4	20								20
LO-5	20								20
備考									



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、わからない用語は調べておく。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害者の定義と特性	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	ICFと障害の社会モデル、障害観の変遷	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害者福祉制度と発展過程、当事者運動	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	富山県障害者スポーツ大会での運営補助員を通じて、障害者の社会参加について学ぶ。	
	【予習】役割のマニュアルをよく読んでくる。	90分
	【復習】感想をまとめる。	90分
第6回	富山県障害者スポーツ大会での運営補助員を通じて、障害者の社会参加について学ぶ。	
	【予習】プログラムをよく読み、大会の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害者権利条約と障害者基本法、生活実態、障害者と家族	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害者を取り巻く社会環境と課題、法制度の全体像	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、児童福祉法	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者虐待防止法	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	障害者差別解消法、バリアフリー法、障害者雇用促進法、障害者優先調達推進法	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	関係機関の役割、	
	【予習】テキストの該当ページを予習してくる。	90分
	【復習】国試ナビを使っておさらいしておく。	90分
第13回	関連する専門職の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第14回	障害領域におけるソーシャルワーカーの役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	障害者と家族等に対する支援の実際（他職種連携を含む）について理解する	
	【予習】テキスト該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	児童家庭福祉論			科目コード	W121-40				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉論		後継科目						
関連科目	社会福祉論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ あなたは子ども？	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する 第1回授業課題書式	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】5月8日4限クラスアワー 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W122-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障論	後継科目	なし						
関連科目	障害者福祉論、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、ボランティア演習、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)、社会福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	中央法規：最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向などに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成を進めるための必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義・目的及び展開の思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	包括的支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について主体的に学ぶことができる。								
LO-5	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士の役割に対する見識を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	編入学希望者以外も履修できます。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方の確認、地域福祉の概説、地域福祉事業・活動の実際、	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第2回	地域福祉計画と地域福祉活動計画について	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第3回	地域福祉の理念、社会福祉法、自立生活支援、権利擁護、苦情解決、生活困窮者自立支援、社会的包摂、	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】具体的な地域生活課題を考える。	90分
第4回	地域福祉の原則、地域福祉の概念、	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第5回	地域福祉における参加の意義、住民参加と協働、地域住民と市民について	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】ノートを基に振り返りをする	90分
第6回	地域福祉におけるアウトリーチの意義、	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】ノートをもとに振り返りをする。	90分
第7回	社会福祉の基盤整備と地域福祉の歴史	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第8回	在宅福祉サービス、特定非営利活動促進法、社会福祉改革と地域福祉の進展、社協活動、社会福祉法と地域福祉などについて	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】ノートをもとに振り返りをする。	90分
第9回	安心生活創造事業、これからの地域福祉のあり方、地域福祉の現状、地域福祉実践の多様な展開など	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】授業のノートで振り返りをする。	90分
第10回	新たな地域福祉の展開、地域福祉の主体、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】ノートをもとに振り返りをする。	90分

第11回	地域福祉にかかる住民や専門職の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第12回	ボランティア活動、福祉教育	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第13回	地域福祉にかかる組織や団体の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第14回	社会福祉協議会、共同募金	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第15回	民生委員・児童委員、特定非営利活動法人、生協・農協、当事者団体・セルフヘルプグループ、企業の社会貢献活動など	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分



授業科目名	地域福祉論			科目コード	W122-11				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障論	後継科目	なし						
関連科目	障害者福祉論、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、ボランティア演習、地域福祉論、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)、社会福祉士指定科目(選択)、								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	中央法規：最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向などに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成を進めるための必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義・目的及び展開の思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	包括的支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について主体的に学ぶことができる。								
LO-5	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士の役割に対する見識を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	地域福祉論 と での通年科目として履修してください。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域福祉実践の事例紹介1（ふれあいサロンの意義と課題）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】事例紹介した内容に合致する動画や新聞記事などを探し、さらに学びを深める。	90分
第2回	地域福祉実践の事例紹介2（ふれまちなど地区社協活動へのこれまでの補助事業の概要と比較）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】事例紹介に関連する動画や新聞記事を探して、学びを深める。	90分
第3回	地域福祉実践の事例紹介3（認知症カフェが果たす役割と課題）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】紹介された事例に関連する動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第4回	地域福祉実践の事例紹介4（市町村社協の地域福祉活動計画と行政の地域福祉計画）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第5回	地域福祉実践の事例紹介5（地域で取り組む福祉教育）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第6回	地域福祉の推進方法	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】1年次のボランティア演習で学んだボランティアコーディネーションについて振り返りをしておく。	90分
第7回	地域福祉の対象とニーズ把握、地域福祉の計画化	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】今日の内容の教科書の読み込みとまとめを行っておく。	90分
第8回	社会資源の活用・調整・開発	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】テキストの振り返りとノートのまとめを行う。	90分
第9回	地域福祉サービスの実際	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第10回	日常生活自立支援事業、	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをし、まとめておく。	90分

第11回	地域包括ケアシステム、	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第12回	地域における福祉サービスの評価と質の確保	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第13回	地域福祉の財源の確保	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第14回	災害救援と民間福祉	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分
第15回	災害時の避難支援、災害救援、被災後の生活支援	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	90分

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	W122-20				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク	担当教員名	村上 満						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	生活と社会	後継科目							
関連科目	社会保障論								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解する。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助とは ソーシャルワークの定義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助とは ソーシャルワークの役割について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの構造について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの機能について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助における援助関係 援助関係の意義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助における援助関係 援助関係の質と自己覚知	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助の展開過程 相談援助のプロセス	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助の展開過程 ケース発見からインテークまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程 問題把握からアセスメントまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程 支援目標の設定から支援の計画まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助の展開過程 支援の実施から経過観察まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助の展開過程 再アセスメントと支援目標の再設定まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助の展開過程 支援の終結とアフターケアまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助の展開過程 予防的対応とサービス開発について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	前期の振り返りとまとめ これまでの総まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	W122-21				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク	担当教員名	村上 満						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	生活と社会	後継科目							
関連科目	社会保障論、								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解できる。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助のための契約の技術 契約の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助のための契約の技術 契約の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントの特性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントで得た情報の使い方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助のための介入の技術 介入の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助のための介入の技術 介入の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程における技術 経過観察、再アセスメントの技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程における技術 効果測定、評価とサービス開発の技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分



第11回	相談援助のための面接の技術 面接の目的と展開	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助のための面接の技術 面接におけるコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助のための記録の技術 記録の意義と活用	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助のための記録の技術 記録の方法と今後の課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	相談援助のための交渉の技術 交渉の意義とプレゼンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W131-12				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活と情報		後継科目						
関連科目	医療・福祉とICT								
資格等 取得との関連									
授業の概要	効果的なデータの活用について学びます。生活と情報で学んだ表計算の基礎を発展させ、福祉施設や企業でのデータ数値の分析をできるよう応用力を養います。なお、日商PC検定データ活用3級の資格取得を目指す。								
学習目標	日商PC検定データ活用3級は、売上などの粗(RAW)データから商品や支店ごとの単純集計や、ピボットテーブルを使ったクロス集計が出題されます。本演習では、日商PC検定データ活用3級資格取得に足るデータ活用能力を身につけることを目標とします。								
キーワード	パソコン、表計算、単純集計、クロス集計、データ分析								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト & 問題集 Excel 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する応用知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 日商PC 3級の問題（文書作成・データ活用）の問題を解いてみる	
	【予習】	0分
	【復習】わからなかったところを調べてみる・難しかったところを復習する	45分
第2回	取引の仕組みと業務の流れ(1) 取引の仕組み	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第3回	取引の仕組みと業務の流れ(2) 業務の流れ	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第4回	取引の仕組みと業務の流れ(3) 取引で使用する書類	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	取引の仕組みと業務の流れ(4) 財務諸表	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第6回	業務に応じた計算・集計処理(1) 基本的な計算処理 業務で使用する計算処理	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第7回	業務に応じた計算・集計処理(2) 業務で使用する集計処理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第8回	業務データの管理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第9回	表の作成(1) データ入力 / 書式設定 / 表示形式	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第10回	表の作成(2) 相対参照と絶対参照 票の編集	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分

第11回	表の作成・確認問題	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	15分
	【復習】確認問題	30分
第12回	データの集計	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第13回	グラフの作成	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第14回	模擬試験（第1回）	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第2回）	45分
第15回	模擬試験（第3回）	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第1回～第3回）の復習	45分

授業科目名	富山型福祉特別講義			科目コード	W131-13				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	学内の教員や学園内の教員の他外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	社会福祉業界を幅広く捉え、社会福祉業界を俯瞰して見れる視野を身に付けると共に今後のキャリア形成時の参考とする。								
キーワード	富山型福祉								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・毎回の授業の振り返りと出席回数にて評価								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造性を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第9回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第10回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

第11回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第12回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第13回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第14回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業内容を理解してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

授業科目名	医療事務概論			科目コード	W131-40				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	医療事務演習					
関連科目	福祉ビジネス、インターンシップ								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク								
授業の概要	我が国及び世界における医療の歩みを理解し、医療の目的及び健康状態の維持・増進について理解を深める。そして、医療組織の中で働く意義、役割を理解し、医療者に必要とされる責務と倫理、医療に関する法規、規則、感染症等のガイドラインの基礎知識を習得する。また、レセプトデータを分析して医療を分析するための基礎力を養う。								
学習目標	レセプト管理及びレセプトコンプライアンスを理解する レセプト情報の活用と病院の事例を基に医療サービスマネジメントを理解する 医療マーケティングとレセプトマネジメントを理解する 患者対応と国際化及び日本と海外の医療制度を理解する								
キーワード	医療保険制度 レセプト管理 医療マネジメント 患者対応								
テキスト・ 参考書等	レセプト管理論								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療保険制度、レセプトコンプライアンス、医療マネジメント、レセプトマネジメントの基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	患者接遇の基本が身につけている。(窓口対応、電話対応)								
LO-3	医療チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考えることができる。								
LO-4	医療業界の動向に関心を向けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章 「レセプト管理とは」(レセプトに関する専門職について理解を深める)	
	【予習】「第1章 レセプト管理とは」を読んで、分からない用語を事前に調べて、理解しておくこと。	90分
	【復習】「第1章 レセプト管理とは」の理解と授業で分からなかった内容を理解を深める。	90分
第2回	第2章「レセプト・コンプライアンス」(レセプト管理業務におけるコンプライアンスを理解する)	
	【予習】コンプライアンスの理解と他の業界でのコンプライアンスについて調べてくる	90分
	【復習】コンプライアンスの概念を理解する	90分
第3回	第3章「レセプト情報の活用」(レセプト研究の可能性・活用事例の説明)	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	第4章「医療サービスマネジメント」(患者満足について説明)	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	第5章「サービスと人材育成」(他業界から見る人材育成を基に医療業界の人材育成について探る)	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	第6章「マネジメントにおける病院の事例」(医療を取り巻く環境、組織マネジメントの重要性、医療事務に求められる使命と役割等)	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	医療マーケティングとレセプトマネジメント(レセプトマネジメント、マーケティングとは、サービスマーケティング等について)	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第8回	患者対応と国際化及び日本と海外の医療制度(医療の国際化、外国人患者対応の実際、日本の医療制度と海外の医療制度)	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分

授業科目名	医療事務演習			科目コード	W131-41				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小野 淳一 小平 達夫						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	インターシップ	後継科目							
関連科目	医療事務概論、福祉ビジネス、福祉ビジネス総合演習、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	医療事務技能審査試験								
授業の概要	診療報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、カルテの読み方・診療報酬明細書（レセプト）の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。								
学習目標	基本診療料と特掲診療料からなる診療報酬点数表を説明できるようにする。 カルテの記載事項を把握できるようにする。 カルテから診療報酬明細書（レセプト）が作成できるようにする。								
キーワード	医療事務、レセプト、診療報酬（加算・減算含む）								
テキスト・ 参考書等	1 医療事務講座（医療保険制度）、2 医療事務講座（患者接遇マナー）、3 医療事務講座（診療報酬点数算定）、4 医療事務講座（診療報酬明細書）、医療事務講座（慣用点数早見表、記載要領等）診療報酬点数表								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や診療報酬請求業務に必要な技術を身につけている。								
LO-3	医療チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。								
LO-4	医療業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	診療報酬請求業務 医科診療報酬に係る事項（出来高・DPC制度）	
	【予習】診療報酬請求業務 について理解を深めてくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	医学一般（1）各器官系の名称・構造・機能（2）人体解剖と病理（3）疾病の原因と治療	
	【予習】こことからだのしくみ のテキストを読んでくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	薬学一般（1）医薬品の種類と薬効分類	
	【予習】医薬品の種類と薬効分類について理解を深めてくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	診療録（1）医科医療用語・略語（2）その他カルテ解読に必要な事項（3）電子カルテシステム	
	【予習】どのような医療用語があるのかを事前に確認してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第5回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第6回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第8回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第9回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第11回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第14回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第15回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第16回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第17回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第18回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第19回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第20回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第21回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第22回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第23回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第24回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第25回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第26回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第27回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第28回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第29回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第30回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W141-20				
科目区分	専門科目 - キャリア支援	担当教員名	小平 達夫						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで必要な社会人基礎力を理解し、社会での活用を目指す。また自分のキャリア形成の幅を広げるために社会福祉分野、介護分野、ビジネス分野より自分の進路を考える。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の将来設計（ライフプラン）を考え、明らかにする。</li> <li>2. 自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。</li> <li>3. 社会人としてのマナーを身につける。</li> <li>4. ビジネス文書について理解を深める。</li> </ol>								
キーワード	キャリアプラン、接遇、ビジネス文書、人間関係、キャリア形成								
テキスト・ 参考書等	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。								
LO-2	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。								
LO-3	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。								
LO-4	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	キャリアと仕事へのアプローチ（働く意識・仕事への取り組み方・会社の基本とルール）と仕事の基本となる8つの意識（顧客意識・品質意識・納期意識・時間意識・目標意識・協調意識・改善意識・コスト意識）	
	【予習】各種媒体にて、社会で求められる人材について調査する。	20分
	【復習】今後社会で求められる人材について、再度理解を深め、日常生活の中で実践する。	25分
第2回	コミュニケーションとビジネスマナーの基本と指示の受け方と報告・連絡・相談	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第3回	話し方と聞き方のポイントと来客対応と訪問の基本マナー	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第4回	社会における人との付き合い方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第5回	仕事への取り組み方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第6回	ビジネス文書の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第7回	電話対応の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	25分
	【復習】授業内容を振り返る。	20分
第8回	統計・データの読み方・まとめ方と情報収集	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第9回	情報収集とメディアの活用	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	25分
	【復習】授業内容を振り返る。	20分
第10回	会社を取り巻く環境と経済の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	25分
	【復習】授業内容を振り返る。	20分

第11回	特別講座 学科長講話	
	【予習】自分の興味のある進路先及びその業界について調査してくる。	25分
	【復習】講義内容を振り返る。	20分
第12回	特別講座 福祉分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	25分
	【復習】講義内容を振り返る。	20分
第13回	特別講座 介護分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	25分
	【復習】講義内容を振り返る。	20分
第14回	特別講座 福祉ビジネス分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	25分
	【復習】講義内容を振り返る。	20分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業の振り返りをしてくる。	25分
	【復習】授業内容を振り返る。	20分



授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W141-30				
科目区分	専門科目 - キャリア支援		担当教員名	井上 理絵 関 好博 吉牟田 裕					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護福祉士指定科目の全て		後継科目	介護福祉総合演習					
関連科目	介護福祉士指定科目の全て								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の3領域を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習します。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験、人間と社会の領域、こころとからだのしくみ領域、介護領域、基本知識								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト、配布資料、模擬問題集またはワークブック								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解していくことができる。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点が取得できる。								
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30							100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3	10	10							20
LO-4	10	10							20
LO-5	10								10
備考	毎回の小テスト、模擬試験、で習熟度でグループ編成し、授業をします。成績は、期末試験・毎回の小テスト・模擬試験で評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本科目に関するガイダンス 前期のすすみ方、自己の学習の仕方、模擬試験について説明 2回の実力試験範囲分かる	
	【予習】本シラバスを読み講義の概要・目的を抑え、科目の進み方が分かる	90分
	【復習】次回の実力試験に向けて 理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
第2回	実力試験 1 回目 1年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験1回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述する。	90分
第3回	実力試験 2 回目 1年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験2回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述できる	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けたみじたく・移動・食事・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解する。	
	【予習】自立に向けたみじたく・移動・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解不足のところをテキストで、振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第7回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けた住居環境・家事援助について理解する。	
	【予習】自立に向けた住居環境・家事援助において基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第8回	領域介護：介護過程 介護過程の意義と目的、情報集とアセスメント、介護過程の展開、チームアプローチについて必要な知識を理解する。	
	【予習】介護過程の意義と目的、アセスメントの定義と方法、情報収集の方法と解釈、介護過程の展開、評価について基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第9回	領域：こころとからだのしくみ 人体を構成している各組織や器官の構造を理解する。生体の機能を維持していくために、各器官が、どのように働いているか理解する。	
	【予習】人体の構造と機能について医学一般の授業で使用したテキスト・授業時のノートから振り返る。理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第10回	領域：こころとからだのしくみ 人体の構造や機能と生活行為がどのように運動しているか理解する。生活行為・動作に関する基本的な知識を知り、生活支援技術に關ず仕組みを理解する。	
	【予習】人体のしくみから様々な生活行為を関連させておく。姿勢・移動動作、入浴・清潔動作、身支度の動作、食神関する動作、睡眠などの基本的な知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見る。また、理解不足のところや苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分

第11回	領域：人間と社会 社会の理解 介護保険制度、社会保障制度のしくみ、個人を守る制度、障害者総合支援法など制度のしくみとサービスの内容等社会福祉の基本的な部分を理解する。	
	【予習】社会福祉の歴史、介護保険制度のしくみ、障害者自立支援、総合支援法のしくみ、日本の社会保障制度等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第12回	領域：こころとからだのしくみ 認知症の理解 認知症を取り巻く状況、医学的側面からの認知症（中核症状・BPSD・周辺症状）、認知症ケアについて正しく理解する。	
	【予習】認知症の原因疾患の症状・特徴、認知症による障害を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第13回	領域：こころとからだのしくみ 障害の理解と発達と老化のしくみ 障害の概念 障害者福祉の基本理念、障害の医学的側面を含めた基礎的な知識を理解する。人の成長・発達について理解する。高齢者に多い疾患と症状の現れ方について分かる。老化について生活への影響を、心理的・社会的・生理的側面からとらえ基礎的な知識を理解する。	
	【予習】障害者福祉法、ノーマライゼーションの意義・歴史的経緯、障害の医学的側面御基礎的知識（身体機能意障害・内部障害・視覚聴覚障害・言語障害）、障害者の心理的側面等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る。発達課題、老化のメカニズム等テキストや資料で振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分
第14回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分
第15回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W141-31				
科目区分	専門科目 - キャリア支援		担当教員名	井上 理絵 関 好博 吉牟田 裕					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護福祉総合演習		後継科目	なし					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験（基礎編・実力編）を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習できる。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験 3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護） 外部模擬試験								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト 配布資料 して学ぶ。（平成25年介護福祉士国家試験対応問題集及びワークブックから選定）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解する。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4									
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上する。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	40								40
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他 A については、意見発表、グループワークでの活動などに点数を与える。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期学習の進め方・自己学習、外部模擬試験、直前学習について理解できる。前期外部の模試結果を参考に自己の学習課題を設定し、自主学習の計画を立てる。	
	【予習】前期に購入した問題集及びテキストから苦手な科目を見直す。	90分
	【復習】自己の学習計画を見直し、計画した科目の問題に取り組む	90分
第2回	領域：こころとからだのしくみ：発達と老化の理解 過去の問題から難易度が高い問題に取り組む。発達の定義と人物について理解する	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。 人間関係とコミュニケーション【11】～【15】 人間関係とコミュニケーション【16】～【20】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する コミュニケーション技術【111】～【115】 コミュニケーション技術【116】～【120】	90分
第3回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。練習問題に取り組む。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて前期から理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る コミュニケーション技術【126】～【130】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。難易度が高い問題や惑わされやすい問題への対応がわかり、練習問題に取り組む	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域：こころとからだのしくみ みじたく・移動・食事に関連したこころとからだのしくみを理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手とする問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域：こころとからだのしくみ 入浴・排せつ・睡眠・ターミナルに関連した、こころとからだのしくみについて理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手な問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第7回	領域：こころとからだのしくみ認知症の理解 医学的に見た認知症の基礎・認知症に伴う心とからだの変化について理解する。過去の問題で、難易度が高い問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第8回	領域：心とからだのしくみ 障害の理解 身体、精神、知的、発達障害、難病について障害の特性、障害の受容と適応機制、障害が及ぼす心理的影響、日常生活への影響について理解する。難易度の高い問題、苦手とする問題の対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第9回	領域：介護生活支援技術 生活の理解・生活支援について理解する。自立に向けた居住環境・みじたく・移動・食事・入浴と清潔保持・家事・睡眠・終末期の介護について分かる。難易度の高い問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第10回	領域：社会の理解 社会保障制度の発達、日本の社会保障制度のしくみ（社会保険と社会扶助）について理解する。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分

第11回	領域：社会の理解 介護保険制度（介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度のしくみ、介護サービスの利用までの流れ、居宅・介護予防サービス、地域密着型サービス、介護支援員専門員の役割について理解する。障害者総合支援法、生活保護制度について分かる。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第12回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第13回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第14回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り合格点がとれるよう試験に臨む	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第15回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り試験に向けて計画的に進めていく。	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 総合支援 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進める際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】	30分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】	30分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】	30分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(3) 研究テーマの深化	45分
	【復習】	30分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】	30分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】	30分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分



第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	30分
	【復習】 ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	30分
	【復習】 ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	30分
第16回	中間まとめ	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	30分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】	30分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】	30分
	【復習】 1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】	30分
	【復習】 2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】	30分
	【復習】 3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】	30分
	【復習】 4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	30分
	【復習】 発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	30分
	【復習】 発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】	30分
	【復習】 リハーサルの総括、発表原稿などの改善	30分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】 発表の練習	45分
	【復習】	30分

授業科目名	アクティビティ概論			科目コード	W511-30				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	健康福祉論 健康と運動 健康スポーツ		後継科目	無し					
関連科目	アクティビティ演習 介護予防論								
資格等 取得との関連	アクティビティワーカー								
授業の概要	ここでいうアクティビティとは対象者(利用者)の方々の心身・生活の活性化と捉える。さらにアクティビティ・サービスとは、その視点に立ち、そのためのすべてのサービスを考え提供(支援)することになる。ここではアクティビティ・サービス論として必要な基礎・応用的な理論を学びつつグループワーク等を通して学習する。								
学習目標	(1)アクティビティ・サービスの基礎的な理論・援助論を学ぶ。 (2)アクティビティ・サービスにおける援助の概況を学ぶ。								
キーワード	アクティビティ 心地よさ 生きがい 日常生活支援								
テキスト・ 参考書等	適宜資料を配布予定								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】アクティビティ・サービスの基礎的な理論・援助論について理解し、正しく答えられる。								
LO-2	【技能】対象者(利用者)のニーズを踏まえ、個別性に留意した取り組みができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】対象者(利用者)のアクティビティ・サービスにおけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者(利用者)に関心をもち、自分自身も適正なアクティビティに努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60				40			100
LO-1		30							30
LO-2		15							15
LO-3		15							15
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO-1、2、3については数回の小テストにより評価する。LO-4、5はその他Aとして、ミニツペーパーや活動の状況を見て総合的に判断する。 小テストの実施日(あくまで予定)については、初回授業時に提示する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業のガイダンス レクからアクティビティ・サービスへの成り立ち	
	【予習】シラバスを読んでおく	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第2回	レクからアクティビティ・サービス - 生活の快論	
	【予習】次回(2回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第3回	アクティビティ・サービスとは何か - 日常生活支援を支えるもの	
	【予習】次回(3回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第4回	アクティビティ・サービスとは何か - 日常生活支援の基本はコミュニケーション	
	【予習】次回(4回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第5回	アクティビティ・サービスとは何か - アクティビティ・サービスに必要な話すこととは	
	【予習】次回(5回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第6回	日常生活支援に果たすアクティビティ・サービスの効果 - アクティビティ・サービスの側面	
	【予習】次回(6回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第7回	日常生活支援に果たすアクティビティ・サービスの効果 - 言葉の誤解を解く	
	【予習】次回(7回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第8回	日常生活支援に果たすアクティビティ・サービスの効果 - アメリカにおけるアクティビティの考え	
	【予習】次回(8回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第9回	アクティビティ・ワーカーの資質 - アクティビティ・ワーカーに求められる性格・能力・責任	
	【予習】次回(9回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第10回	支援の基本 - 利用者の権利の保障と自分への気づき	
	【予習】次回(10回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分

第11回	日常生活支援の専門職 - 専門職の仕事と支援の体系	
	【予習】 次回(11回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】 配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第12回	日常生活支援の専門職 - 支援の体系と連携	
	【予習】 次回(12回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】 配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第13回	日常生活支援の専門職 - 支援のための人間理解(1)	
	【予習】 次回(13回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】 配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第14回	日常生活支援の専門職 - 支援のための人間理解(2)	
	【予習】 次回(14回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】 配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第15回	日常生活支援の専門職 - 支援のための人間理解(3)	
	【予習】 今までの配布資料(1～14回)、ノートしたところを整理しておく。	90分
	【復習】 配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分

授業科目名	アクティビティ演習			科目コード	W511-31				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	健康福祉論 健康と運動 健康スポーツ		後継科目						
関連科目	アクティビティ概論 介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士 介護職員初任者研修 アクティビティワーカー								
授業の概要	ここでいうアクティビティとは対象者(利用者)の方々の心身・生活の活性化と捉える。さらにアクティビティ・サービスとは、その視点に立ち、そのためのすべてのサービスを考え提供(支援)することになる。ここではアクティビティ・サービス支援技術論としての側面でアクティビティサービスにおける必要な基礎・応用的な理論を学びつつ演習を通して理解をする。								
学習目標	(1)アクティビティ・サービスの基本理論・援助論を振り返り理解を深める。 (2)アクティビティ・サービスの支援技術論について理解をする。								
キーワード	アクティビティ 心地よさ 生きがい 日常生活支援								
テキスト・ 参考書等	適宜資料を配布予定								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】アクティビティ・サービスを営むために、アクティビティの基礎理論について理解し、正しく答えられる。								
LO-2	【技能】対象者(利用者)のニーズを踏まえ、個性性に留意した取り組みができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】対象者(利用者)のアクティビティ・サービスにおけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者(利用者)に関心をもち、自分自身も適正なアクティビティに努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	30			40			100
LO-1		30							30
LO-2			15						15
LO-3			15						15
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO-1については数回の小テストにより評価する。LO-2、3はレポートにより評価する。LO-4、5はその他Aとして、ミニツペーパーや活動の状況を見て総合的に判断する。 小テストの実施日(あくまで予定)については、初回授業時に提示する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業のガイダンス 生活環境の全体整備 - 「衣」の話題・「食」の話題	
	【予習】シラバスを読んでおく	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第2回	生活環境の全体整備 - 「住」の話題・「生活の知恵や知識」の話題	
	【予習】次回(2回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第3回	情報の提供について - 現状と課題	
	【予習】次回(3回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第4回	情報の提供について - 施設における提供に仕方	
	【予習】次回(4回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第5回	生活支援のなかの安全管理 - リスクマネジメントとは	
	【予習】次回(5回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第6回	生活支援のなかの安全管理 - 薬の知識と傷害保険	
	【予習】次回(6回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第7回	アクティビティ・サービスと死 - 支援者に必要な死への気付き	
	【予習】次回(7回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第8回	アクティビティ・サービスと死 - 快い旅立ちへの支援	
	【予習】次回(8回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第9回	アクティビティ・サービスにおける計画とは - アクティビティ・サービスのプログラムとは何か	
	【予習】次回(9回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第10回	アクティビティ・プログラム - 個別的な支援・集団的支援	
	【予習】次回(10回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分

第11回	リアリティ・オリエンテーション(RO)～2種類のRO	
	【予習】次回(11回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第12回	計画の立て方～計画を立てる前の整理	
	【予習】次回(12回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第13回	アクティビティ・プログラム8つの要素～プログラムの立て方	
	【予習】次回(13回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第14回	アクティビティ・カレンダーの作成～グループワーク&ディスカッション	
	【予習】次回(14回目)に関連する文献を読んでおく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分
第15回	プログラムの評価～評価の考え方と実際	
	【予習】今までの配布資料(1～14回)、ノートしたところを整理しておく。	20分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	25分



授業科目名	人間の尊厳と自立			科目コード	W521-10				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論、生活と社会		後継科目	なし					
関連科目	社会保障								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について共に考え、介護場面における倫理的課題に対応できるための基礎を学びます。具体的には、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討し、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心得を学習します。そうした学習を通じて、「人生という物語」に対する共感的な理解の能力を高めながら、福祉・介護関連の仕事に携わることの責任を自覚し								
学習目標	1. 人間の尊厳と自立・自律の意義を理解する。 2. 人権の歴史や基本的人権の概念を理解する。 3. 多様な価値観・人生観を理解し、寛容の精神を培う。 4. 介護場面における倫理的課題を理解する。								
キーワード	人間の尊厳、基本的人権、身体拘束、自立・自律、権利擁護、倫理・道徳と法律、インフォームドコンセント、医療倫理、ケア倫理、物語論、生殖補助医療(A R T)、出生前診断、人工妊娠中絶、老老介護、認知症、地域包括ケアシステム、ア								
テキスト・ 参考書等	使用テキスト：金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018) その他参考文献など：介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新介護福祉士養成講座								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教科書に出てきた専門用語や授業中に補足説明した関連事項を正確に整理し、基礎知識を体系的に獲得している。								
LO-2	人間の尊厳、自立、人権の概念の歴史、意味、意義に関する知識を有する。								
LO-3	人間の多様な価値観、文化を理解し、寛容の精神を培い、介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。								
LO-4	様々な人権問題に関心を持ち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60			40				100
LO-1		60							60
LO-2					10				10
LO-3					10				10
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	成果発表については、ケーススタディ(教材ドラマを用いたグループワーク)の取り組み姿勢、ミニッツペーパー(講義内容に関する個別のコメント)の記述内容、以上の2点に基づいて評価を行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	[導入1]人間の尊厳と自立：人間の尊厳と人権・福祉理念について	
	【予習】講義概要を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第2回	[導入2]人間の尊厳と自立：ドラマによるケーススタディ[1]	
	【予習】参考文献の指定範囲(p.2-p.50)を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第3回	[導入3]人間の尊厳と自立：自立のあり方について	
	【予習】参考文献の指定範囲(p.51-p.78)を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第1回小テストの準備をする。	90分
第4回	コメディカルの生命倫理；第1回小テスト( - の確認 15点分)	
	【予習】テキストの指定範囲(p.6-p.17)を熟読する。第1回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第1回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第5回	いのちの誕生における倫理的課題(その1)；ドラマによるケーススタディ[2]	
	【予習】テキストの指定範囲(p.34-p.41)を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第6回	いのちの誕生における倫理的課題(その2)；ドラマによるケーススタディ[3]	
	【予習】テキストの指定範囲(p.34-p.41)を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第7回	いのちの誕生における倫理的課題(その3)；ドラマによるケーススタディ[4]	
	【予習】テキストの指定範囲(p.34-p.41)を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第2回小テストの準備をする。	90分
第8回	インフォームドコンセント；第2回小テスト( - の確認 15点分)	
	【予習】テキストの指定範囲(p.52-p.58)を熟読する。第2回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第2回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第9回	臓器移植に関する倫理；ドラマによるケーススタディ[5]	
	【予習】テキストの指定範囲(p.71-p.83)を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第3回小テストの準備をする。	90分
第10回	高齢者医療における倫理的課題(その1)；第3回小テスト( と の確認 10点分)	
	【予習】テキストの指定範囲(p.84-p.102)を熟読する。第3回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第3回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分

第11回	高齢者医療における倫理的課題（その2）；ドラマによるケーススタディ[6]	
	【予習】テキストの指定範囲（p.84-p.102）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第4回小テストの準備をする。	90分
第12回	死に関連する倫理的課題；第4回小テスト（と の確認 10点分）	
	【予習】テキストの指定範囲（p.104-p.112）を熟読する。第4回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第4回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第13回	尊厳死と安楽死；ドラマによるケーススタディ[7]	
	【予習】テキストの指定範囲（p.113-p.122）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第5回小テストの準備をする。	90分
第14回	児童虐待と生命倫理；第5回小テスト（と の確認 10点分）	
	【予習】テキストの指定範囲（p.152-p.170）を熟読する。第5回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第5回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第15回	発達障がいと生命倫理；[総まとめ] 生と死の倫理学 と福祉・介護	
	【予習】テキストの指定範囲（p.171-p.182）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。講義全体をふり返る。	90分